

高ノ御前遺跡発掘調査報告

1 9 9 7 . 3

三重県埋蔵文化財センター

例 言

1. 本書は、三重県伊勢市有滝町高御前に所在する高ノ御前（たかのごぜん）遺跡の発掘調査報告書である。
2. 調査は、平成8年度県営ほ場整備事業に係わる第4分冊である。
3. 調査は次の体制で行った。

| | |
|------|--------------|
| 調査主体 | 三重県教育委員会 |
| 調査担当 | 三重県埋蔵文化財センター |
| 係長 | 前川 嘉宏 |
| 技師 | 日栄 智子 |
4. 調査にあたっては、三重県農林水産部農地整備課、伊勢農林事務所、伊勢市教育委員会、及び地元の方々からの多大な御協力をいただいた。
5. 発掘調査後の出土遺物の整理及び当報告書の作成業務は、三重県埋蔵文化財センター調査第一課及び管理指導課が行い、以下の方々の補佐を得た。執筆及び全体の編集は日栄智子が行い、出土遺物の撮影は田中久生が行った。

足立純子、有川芳子、石橋秀美、井村浩子、柿原清子、川口 愛、井田美奈子、楠 純子、倉田由起子、小林佳代子、須賀幸枝、杉原泰子、武村千春、田中美樹、豊田幸子、富楽幸子、中川章世、中山豊子、西田衣里、西村秋子、浜崎佳代、早川陽子、堀内博子、松本晴美、松月浩子、森島公子、柳田敬子（50音順、敬称略）
6. 挿図の方位は、全て真北で示している。なお、磁針方位は西偏6°40′（平成6年）である。
7. 本書で用いた遺構表示略記号は、下記による。

| | | | | | | | |
|----|--------|----|------|----|------|----|--------|
| SH | ： 竪穴住居 | SE | ： 井戸 | SK | ： 土坑 | SZ | ： 不明遺構 |
|----|--------|----|------|----|------|----|--------|
8. V章の出土土器の胎土分析については、奈良教育大学の三辻利一先生から玉稿を賜った。
9. 出土遺物や資料は、全て三重県埋蔵文化財センターで保管している。
10. スキャニングによるデータ取り込みのため若干のひずみが生じています。各図の縮尺率は、スケールバーを参照ください。

本文目次

| | |
|---------------------|----|
| I 前言 | 1 |
| II 位置と環境 | 1 |
| III 層位と遺構 | 7 |
| IV 遺物 | 9 |
| V 高ノ御前遺跡出土土器の蛍光X線分析 | 17 |
| VI 結語 | 22 |

挿図目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 第1図 遺跡位置図 | 4 |
| 第2図 遺跡地形図 | 5 |
| 第3図 調査区位置図 | 5 |
| 第4図 A・B地区調査区遺構平面図・B地区南壁土層断面図 | 6 |
| 第5図 SK17平面図・土層断面図・土器出土状況図 | 8 |
| 第6図 SH10平面図・土層断面図 | 8 |
| 第7図 A・B地区出土土器分類図 | 10 |
| 第8図 A地区SK3・SK5・SZ11出土遺物実測図 | 11 |
| 第9図 B地区SZ4・SH10出土遺物実測図 | 12 |
| 第10図 B地区SK17出土遺物実測図 | 13 |
| 第11図 B地区SK17・SK22出土遺物実測図 | 14 |
| 第12図 B地区SK2・12・20・22・Pit出土遺物実測図 | 15 |
| 第13図 B地区包含層・表土出土遺物実測図 | 16 |
| 第14図 甕A類のK-Ca分布図 | 21 |
| 第15図 甕A類のRb-Sr分布図 | 21 |
| 第16図 甕B類のK-Ca分布図 | 21 |
| 第17図 甕B類のRb-Sr分布図 | 21 |
| 第18図 甕C・D・E・F類のK-Ca分布図 | 21 |
| 第19図 甕C・D・E・F類のRb-Sr分布図 | 21 |
| 第20図 杯類のK-Ca分布図 | 21 |
| 第21図 杯類のRb-Sr分布図 | 21 |
| 第22図 須恵器のK-Ca分布図 | 22 |
| 第23図 須恵器のRb-Sr分布図 | 22 |

表目次

| | |
|------------------|----|
| 第1表 出土遺物胎土分析表(1) | 19 |
| 第2表 出土遺物胎土分析表(2) | 20 |
| 第3表 出土遺物観察表(1) | 23 |
| 第4表 出土遺物観察表(2) | 24 |

図版目次

| | |
|---------------|----|
| 図版1 A地区全景 | 25 |
| B地区全景 | 25 |
| 図版2 B地区全景 | 26 |
| B地区SK17土器出土状況 | 26 |
| 図版3 B地区SH10 | 27 |
| B地区SH10石出土状況 | 27 |
| 図版4 出土遺物写真 | 28 |

I 前 言

1. 調査に至る経過

高ノ御前遺跡は伊勢市有滝町に所在する周知の遺跡で、昭和50年からその存在が知られていた。今回県営ほ場整備事業（伊勢北部地区）により遺跡が破壊される恐れがあったため、平成8年7月10日に試掘調査を実施した結果、遺構、遺物ともに豊富で、特に、遺物は6世紀代の土師器を中心に非常に大量に出土し、事業地内14,000㎡について遺跡が存在していることが判明した。そのため、事業により削平を受ける約400㎡について本調査を実施することになった。

2. 調査の経過と方法

今回の調査は、排水路部分をA地区、水田の削平に伴う部分をB地区として実施した。調査期間は平成8年10月7日から開始し、同11月14日で終了した。最終的な調査面積はA地区120㎡、B地区280㎡であった。小地区の設定にあたっては、4m×4mを基準として西から東にアルファベット、北から南に数字の番号を与え、地区名は北西隅の杭を基準とした。

調査日誌（抄）

月 日

10. 7 A地区表土を重機により除去。

10. 9 B地区表土を重機により除去。

10. 15 A地区検出および遺構掘削開始。

10. 17 A地区、清掃後、全景写真。B地区検出開始。

10. 21 A地区、平面実測の基準点設定後、実測開始。平面図のみ終了。

10. 22 B地区、遺構掘削開始。

10. 24 B地区、ピット掘削。

10. 29 S K 4 掘削開始。

10. 30 S H10、S K17掘削開始。S H10土層断面実測および写真撮影。A地区、レベル計測。A地区の調査は終了。

10. 31 S K17、粘土層中の土器出土状況写真および実測。

11. 1 平面実測の基準点設定。

11. 5 平面実測開始。

11. 6 S K 4、21掘削終了。S K22掘削開始。

11. 7 S K 4、22土層断面実測および写真。

11. 8 清掃作業。

11. 11 清掃後、全景写真。

11. 12 遺構平面実測終了。

11. 13 調査区東壁土層断面実測および写真。S H10土器取り上げ。B地区、現場での作業はすべて終了。

II 位置と環境

高ノ御前遺跡（1）は三重県伊勢市の北端部、有滝町字高御前に所在する。当遺跡は外城田川流域の左岸、標高約2.5mの旧浜堤上に位置し、東西約200m、南北約200mの広範囲にわたって遺物の散布が認められている。周辺の地形は、伊勢湾により形成された砂洲・砂堆及び海岸平野で、いわゆる低地の微高地に属し、遺跡の少ない地域とされてきたが、昭和50年に実施された皇学館大学考古学研究会の「伊勢市周辺遺跡分布調査」において当遺跡を含め、多くの遺跡が発見された。遺物の散布は現在も顕著で、須恵器、土師器を中心に多数の遺物が表採され

ている。

周辺の遺跡を概観してみると、当遺跡の位置する外城田川流域、宮川流域には、多くの遺跡が知られている。

縄文時代においては、宮川流域では早期から晩期の遺跡がある。大藪遺跡（2）からは遺構に伴うものではないが、押型文土器や晩期条痕文土器が出土している。外城田川左岸に位置する小御堂遺跡（3）からはチャート製の木葉形尖頭器、晩期条痕文土器が検出されている。また、高ノ御前遺跡の東方約1kmに位置する荘司端遺跡（4）からは、後期に属す

る沈線と磨消縄文をモチーフとする称名寺式に類似した土器が表採されている。^④

弥生時代においても、前期から後期の遺跡が確認されている。大藪遺跡からは、前期の土器が包含層から出土している他、後期の方形周溝墓が検出されている。この遺跡は、遠賀川式土器の東進伝播ルート上の1地点であると想定されている遺跡で、中勢地方からの南下ルートを考える上で重要であると言える。^⑤中期の遺跡には、包含層から壺、甕、高杯、台付甕等が出土している離宮院跡(5)などがある。^⑥

後期になると、特に汁谷川左岸段丘上においては、遺跡が急増し、野垣内遺跡(6)、中楽山遺跡(7)、中楽山南遺跡(8)、小社遺跡(9)といった大規模遺跡群が広がる様になり、古墳時代初頭に至る展開が窺われる。

現在、伊勢市周辺から明確な墳丘を持つ前期古墳は確認されていないが、前述の弥生時代後期における遺跡群が依然、活発な動向を見せていたと考えられる。特に、野垣内遺跡で検出された方形周溝墓は古墳時代初頭に入るものとして注目されている。^⑦

また、小社遺跡では、4世紀後半とされる石釧が表採されており、同遺跡のS字状口縁台付甕の集中時期とも一致することから、前期古墳の存在が推定されている。^⑧また、この様な大規模な遺跡群の他にも台付甕が表採されている皆戸遺跡(10)、壺形土器やS字甕、高杯が出土している東山遺跡(11)等、集落跡と考えられる遺跡も存在する。^⑨今回の高ノ御前遺跡の調査でも、全体量からみればわずかではあるが、S字甕は出土しており、この時期から活動が始まっていたことが予想される。

古墳時代中期になると、伊勢市内では最古の古墳群である落合古墳群(12)の造営が始まる。古墳群は10基の古墳と7基の土坑墓から成り、4世紀末頃から6世紀前半頃にかけて形成されたものである。特に県下でも最古に属する須恵器が出土している点は注目される。^⑩

そして、6世紀に入り、古墳時代も後期になると高ノ御前遺跡もそのピークを迎える。周辺でも多くの古墳が築かれる様になる。6世紀前葉の古墳には前方後円墳の野田古墳(13)、丁塚古墳(14)等がある。丁塚古墳は直径29mの円墳だが、前方後円墳

の可能性も指摘されている。古墳の周辺に、かつては中塚古墳(15)、中塚東古墳(16)、中塚南古墳(17)カンジョ古墳(18)、野依東古墳(19)、下稲葉古墳(20)万城古墳(21)の7基の古墳が存在しており、7世紀前半頃まで継続して造墓を行っていたことが推定されている。^⑪6世紀中葉～後葉には、五十鈴川流域における分布が顕著になるが、宮川、外城田川流域においても前述の丁塚古墳周辺のまこも古墳群(22)、高倉山古墳(23)等の古墳が挙げられる。特に高倉山古墳は、標高116mの高倉山山頂に立地する巨大な横穴式石室を持つ円墳で、石室や墳丘の規模が他の古墳とは隔絶しており、神宮の成立と変遷に何らかの関連があることが考えられており、度会氏一族の有力者の墳墓である可能性が指摘されている。^⑫

集落遺跡としては6世紀初頭の須恵器を伴う堅穴住居が検出されている中ノ垣内遺跡(24)がある。^⑬7世紀になると、遺跡の数は減少するが、その中でも高倉山北側の塚山古墳群(25)からは金銅製帯金具が出土しており、被葬者はかなりの有力者であっただろうと考えられている。^⑭

他に古墳時代の遺物散布地として挙げておきたいのは、高ノ御前遺跡とは現在、用水路を挟んで西に広がる田面遺跡(26)である。ここからは、土師器甕や須恵器杯身、杯蓋、高杯等が表採されており、遺物や立地の共通性から同一の遺跡であると考えられる。^⑮

古代以降の遺跡としては、小御堂前遺跡やその中心遺跡と考えられる殿垣外遺跡(27)が挙げられる。両者は同一の遺跡と考えられ、奈良～平安時代を中心とする複合遺跡である。柱筋方向を揃えた掘立柱建物や多量の墨書土器や緑釉陶器の出土から「伊蘇館」と呼ばれた神宮祭主の居宅の一部とも推定されている。^⑯また、対岸の高向遺跡も同様の時代を中心とする遺跡で、石帯や墨書土器、一定の方位に柱列を揃えている掘立柱建物の存在等から、官衙的性格を持つ集落とされている。^⑰集落以外の遺跡としては、斎王の離宮、大神宮司の政庁、度会郡の駅家という三つの機能を兼ね備えた一大官庁群であったと想定されている離宮院跡がある。また、丁塚古墳からは平安時代末頃の経筒が出土しており、経塚として利

用されていたことが知られる。^⑮

また、明和町一帯に広がる土師器焼成坑を検出している遺跡についても若干触れておきたい。^⑯この地域は、伊勢神宮の天照大神の御杖代としてつかえた未婚の皇女斎王の宮殿と斎宮寮と呼ばれるそれを運営する官衙として機能していた斎宮跡がある場所として著名である。北野遺跡や水池土器製作遺跡（28）等はこの斎宮に多量の土師器を焼成して供給していたと考えられている。土師器焼成坑は、現在その他にも多くの遺跡から検出されているが、それらは飛鳥～奈良時代にかけてのものである。特に、北野遺跡の土師器焼成坑から出土する土師器に甕が圧倒的多数を占めることは、高ノ御前遺跡においても同様の傾向が認められることと何らかの関連性が予想される。

[註]

- ①『三重県伊勢市遺跡分布地図』伊勢市教育委員会 1981
- ②吉水康夫「大藪遺跡」『南勢バイパス埋蔵文化財調査報告』建設省中部地方建設局 三重県教育委員会 1973
- ③岩中淳之『小御堂前遺跡発掘調査報告』伊勢市教育委員会1970
- ④岩中淳之「荘司端遺跡」『三重県伊勢市遺跡分布地図』伊勢市教育委員会 1971
- ⑤前掲③
- ⑥『離宮院跡発掘調査報告』小俣町教育委員会1980
- ⑦下村登良男「野垣内遺跡」『昭和47年度県営圃場整備事業地区 埋蔵文化財調査報告8』三重県教育委員会 1979
- ⑧「伊勢市とその周辺の古墳時代」『伊勢市とその周辺の古墳文化』皇学館大学考古学研究会 1992
- ⑨前掲①
- ⑩伊藤裕偉「落合古墳群」『近畿自動車道（勢和～伊勢）埋蔵文化財調査概報Ⅶ』 三重県教育委員会 1991
- ⑪岩中淳之「伊勢市丁塚古墳と周辺消滅古墳の再検討」『三重考古学研究』1985
- ⑫伊藤久嗣「遺跡の歴史的環境」『南勢バイパス埋蔵文化財調査報告』建設省中部地方建設局 三重県教育委員会 1973
- ⑬高見宜雄・岩中淳之「中ノ垣外遺跡」『昭和58年度農業基盤整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』三重県教育委員会 1984
- ⑭前掲⑩

⑮前掲①・⑩

⑯前掲④

岩中淳之『殿垣外遺跡発掘調査報告』伊勢市教育委員会 1983

⑰伊藤久嗣「高向遺跡」『南勢バイパス埋蔵文化財調査報告』建設省中部地方建設局 三重県教育委員会 1973

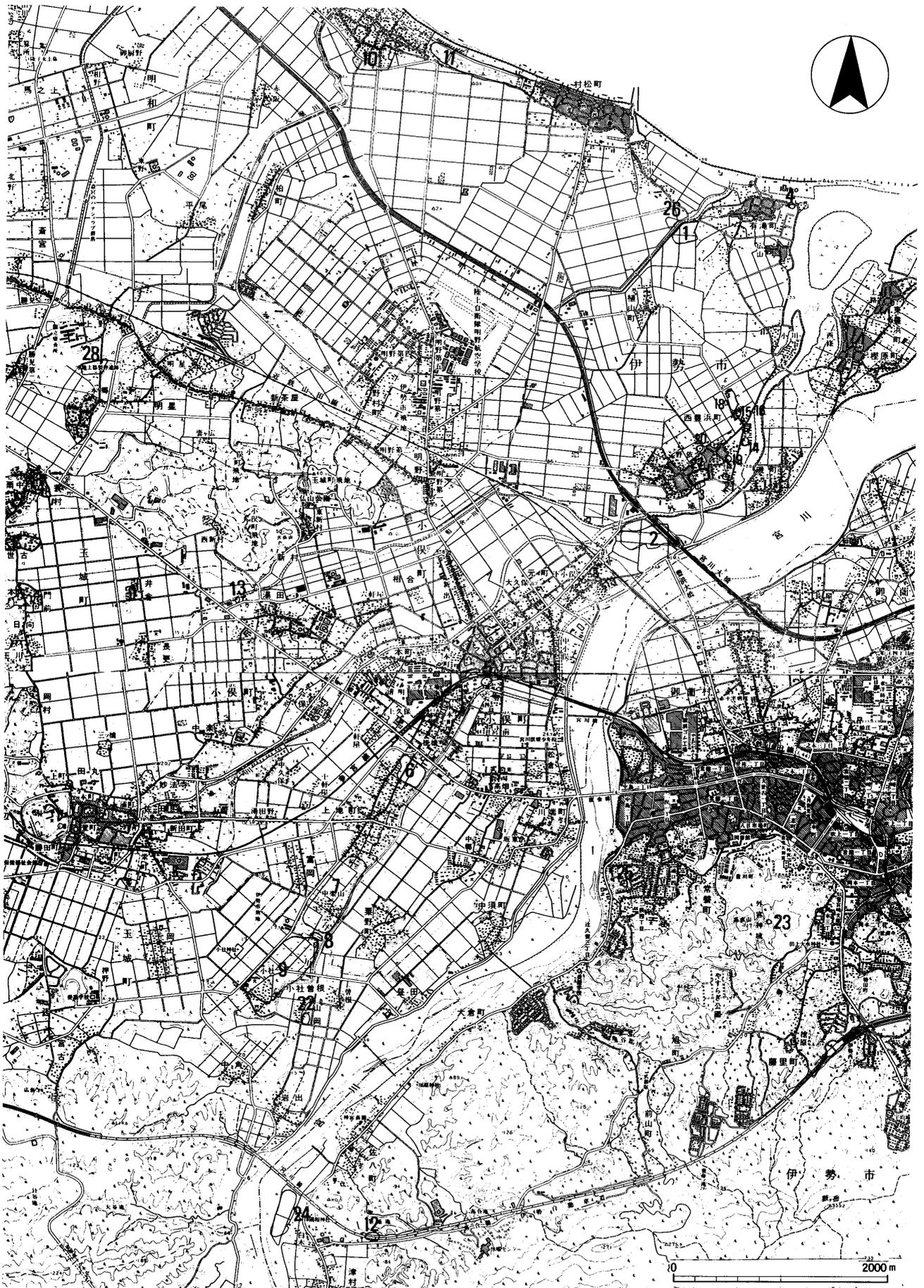
⑱前掲⑦

⑲「丁塚古墳測量調査」『歩跡3号』皇学館大学考古学研究会 1976

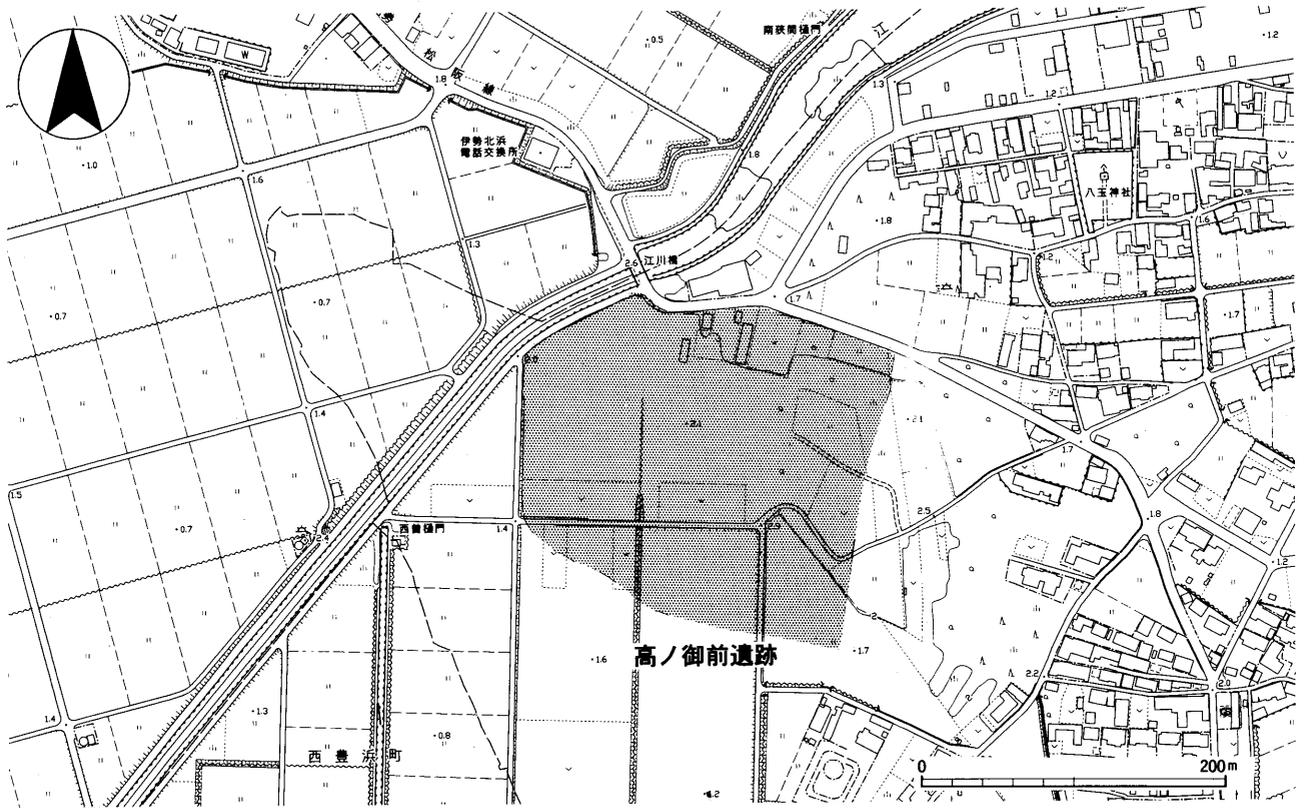
⑳田村陽一「北野遺跡」『平成2年度農業基盤整備事業地域 埋蔵文化財発掘調査報告—第2分冊—』三重県教育委員会 三重県埋蔵文化財センター 1991. 3

竹田憲治『北野遺跡（第5次）発掘調査概報』三重県埋蔵文化財センター 1996. 3

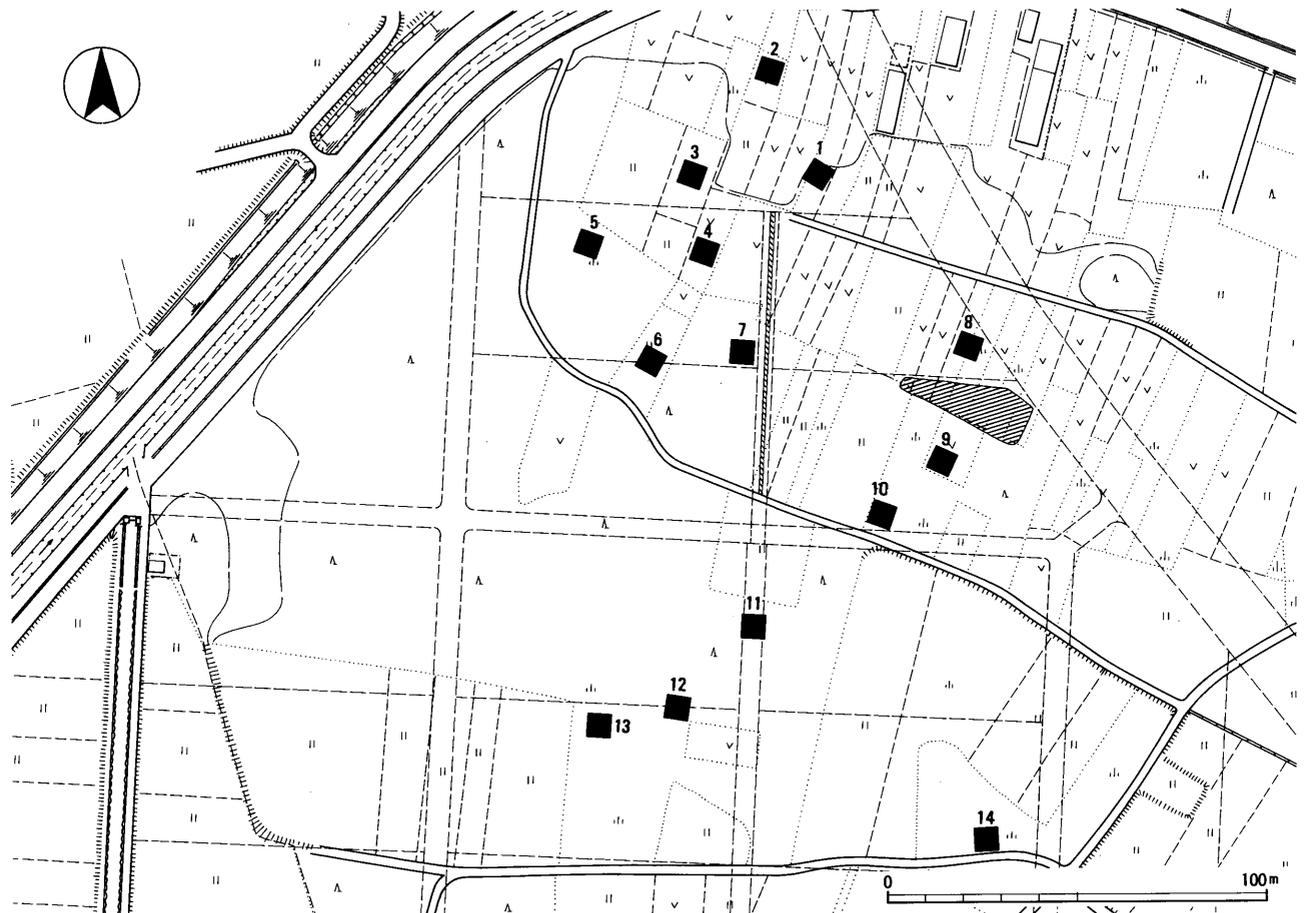
西村美幸『曾祢崎遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 1996. 3



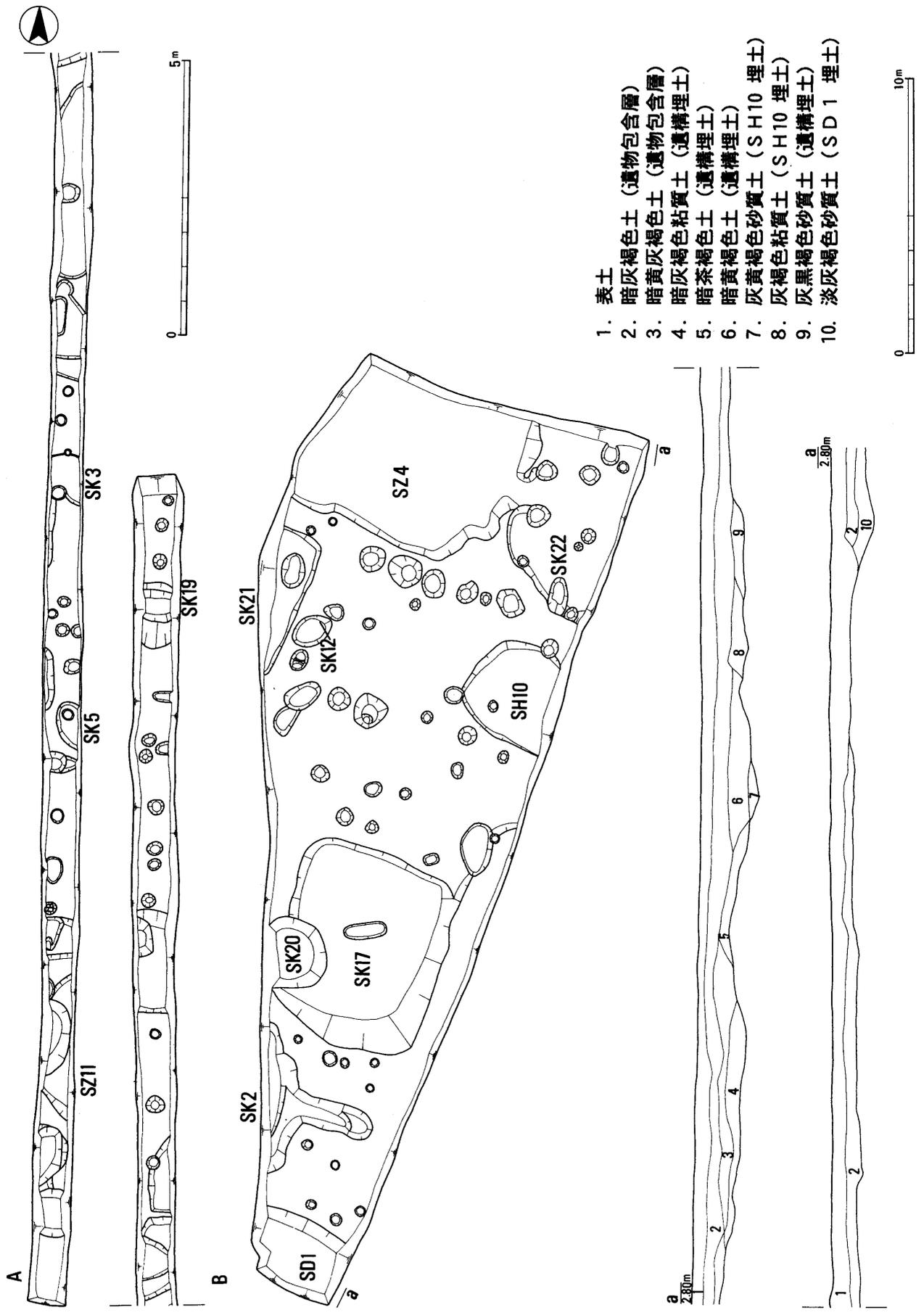
第1図 遺跡位置図 (1 : 50,000) [国土地理院「伊勢」「明野」1 : 25,000による]



第2図 遺跡地形図 (1 : 5,000)



第3図 調査区位置図 (1 : 2,000) [■は試掘坑]



第4図 A・B地区 調査区遺構平面図 (1:200) ・B地区南壁土層断面図 (1:100)

Ⅲ 層位と遺構

(1) 層位

当遺跡は、第1層：表土、第2層：暗灰褐色土（遺物包含層）、第3層：黄褐色砂礫土（地山）で、A地区、B地区ともに基本的な層位は同じである。遺構検出は第3層上面で行なった。A地区の遺構検出面までの深さは南北両端では0.7～0.8mで、中央部は0.5mと浅くなっていた。また、B地区の遺構検出面までの深さは東端でやや浅くなっていたが、概ね0.5mほどであった。

(2) 遺構

A地区

調査面積は約120m²だが、幅が約1.5mの細長い調査区であったため、各遺構の全体像は判然とせず、性格は不明なものが多かった。以下、主な遺構についてその概略を述べる。

SK3

調査区北端で検出された。南北の幅は約3.8m、検出面からの深さは0.3mである。西端部でSK9に切られる。遺構上面から土師器甕（1～4・6）、皿（5）を中心にかなり多量の遺物が出土した。

SK5

調査区中央西寄りで検出された。南北方向の幅は3.6m、検出面からの深さは南北両端は0.2～0.3mで、中央部の階段状に落ち込んでいる部分は0.4～0.6mとなっている。遺構の北側で灰褐色粘土の混入する埋土が確認された。出土遺物は土師器の甕（6・7）、等がある。

SK19

調査区南端で検出された。南北の残存長は2.7m、東側では一部調査区外に至るが、遺構の肩を確認している。検出面から1.8mほど下げたが、底を確認することはできなかった。その深さから井戸の可能性が考えられる。出土遺物は土師器の甕等がある。

B地区

調査面積は約280m²で竪穴住居、井戸、溝、土坑、ピットが検出された。以下、主な遺構について、その概略をのべる。

竪穴住居

SH10

調査区南東で検出された。東西の最大長は3.6m、南北の最大長は3.5m、検出面からの深さは0.19mで床面はほぼ水平である。南端が調査区外に至るため全体の規模は不明である。埋土は暗灰褐色土で、北側の辺から約1mの部分に直径約10cm、長さ約18cmの石が直立した状態で検出され、その周辺に土器が集中する範囲が認められた。焼土は確認されなかったが、カマドの支柱石とも考えられる。遺物は土師器の甕（40～43）須恵器の杯身（44）、杯蓋（45）などが出土しており、時期は概ね、6世紀中葉と考えられよう。

井戸

SE20

調査区北壁の中央からやや西寄りで検出された。北側は調査区外に至る。残存最大長は2.6m、検出面からの深さは約1.5mで、底を確認した。底付近からは水の湧出が見られた。内部構造は検出されず、素掘りの井戸であったと思われる。遺物は土師器の甕、皿、須恵器の杯身等が出土している。時期は概ね、6世紀中葉と考えられよう。

溝

SD1

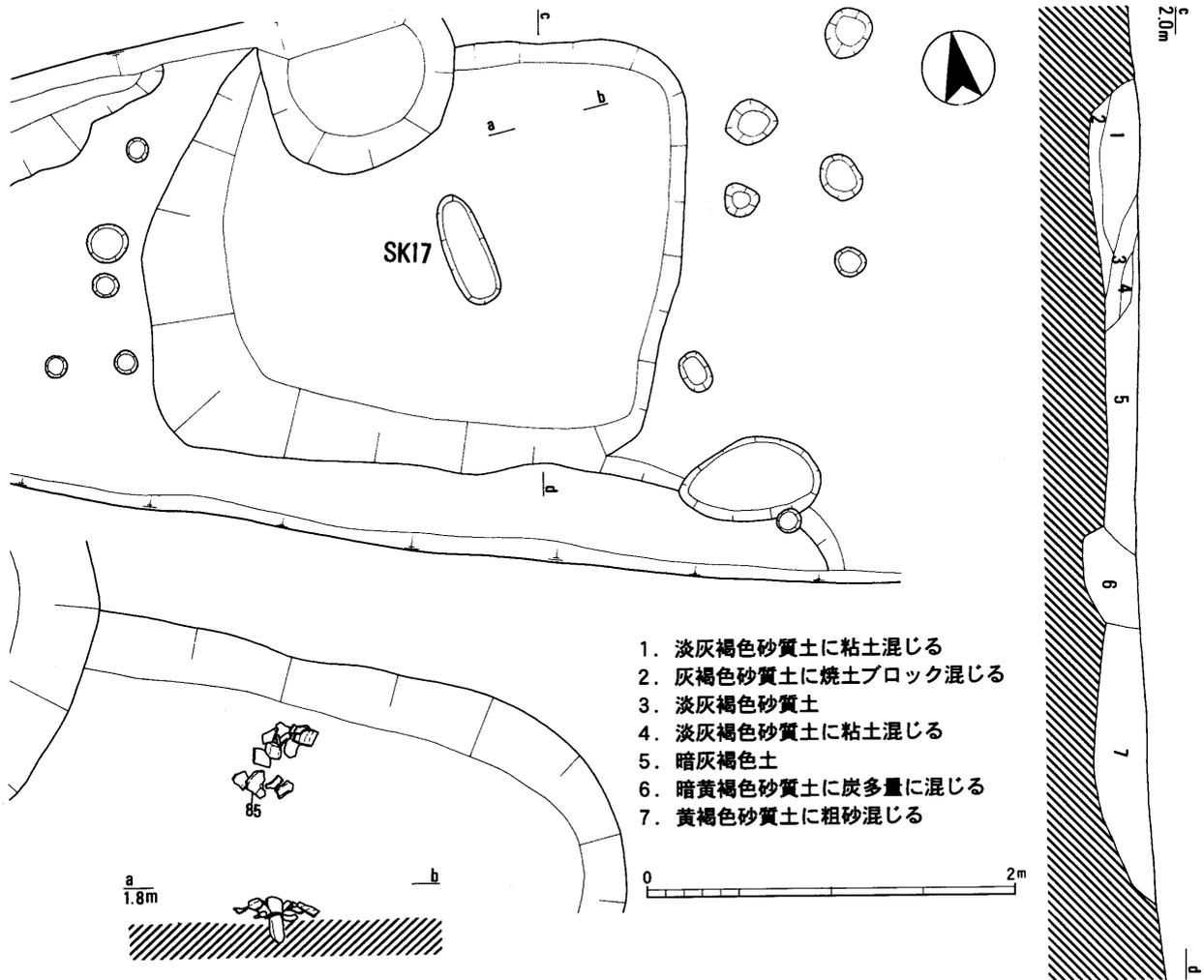
調査区西端で検出された南北溝ではあるが、遺構の東肩が確認されたのみであり、土坑であるとも考えられる。残存最大長は3.2m、検出面からの深さは約0.35mである。遺物は土師器の甕、須恵器の杯等が出土している。時期は概ね、6世紀後半と考えられよう。

土坑

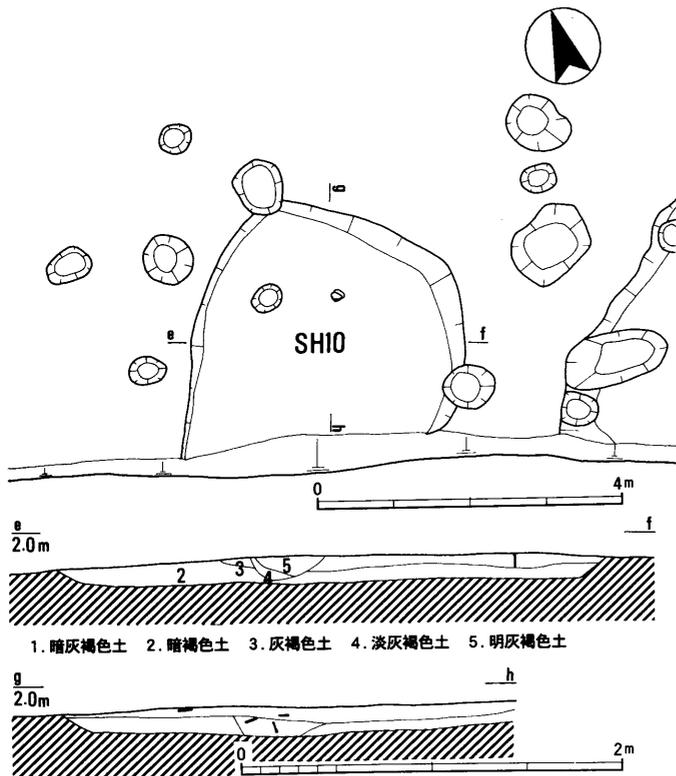
SK2

調査区西端でSD1の東で検出された不定形の土坑である。調査区北壁に向かって階段状に落ち込んでおり、検出面からの深さは約0.2～0.5mである。遺物は土師器の甕（107・108）、須恵器の杯蓋（109）等が出土している。時期は概ね、6世紀後半と考えられよう。

SK17



第5図 SK17 平面図(1:100) 土層断面図(1:50)・土器出土状況(1:40)



第6図 SH10 平面図(1:100)・土層断面図(1:50)

調査区中央から西寄りで検出された。長辺7.3m、短辺5.9mの長方形の土坑である。遺構の位置する部分は西から東に向かって検出面が、0.3mほど傾斜しており、底はほぼ水平であるが、検出面からの深さは0.3~0.6mと一定ではない。遺構埋土は基本的には灰褐色砂質土で、中央より東側には、土器が大量に出土した暗灰褐色土の層および炭層が認められた。また、北端で、粘土の混入する部分が検出されたが、ここからは土師器の甕の胴部と須恵器の杯蓋(85)がまとまって出土した。その他の出土遺物もかなり大量で、土師器の甕(46~75)を中心に高杯(76・77)杯(78~80)、須恵器の杯身(81~83)、杯蓋(84~86)、甕(87)、短頸壺(88)等がある。6世紀前半から中半と考えられる。

SK21

調査区東端、SZ4の西で検出された。残存最大長は5.2mで検出面からの深さは、0.1~0.25mで西から東に向かって若干傾斜している。中央部にピツ

ト状に窪む部分がある。遺物は土師器の甕、高杯等が出土している。時期は6世紀前半と考えられる。

SK22

調査区南東端で検出された。東側の肩はトレンチによって壊されている。残存最大長は4.1m、検出面からの深さは、0.25～0.3mで、底は若干隆起している。遺構埋土は暗褐色土の下に淡灰褐色砂質土の堆積が認められる。中央よりやや東で土器が集中して出土した。出土遺物はその部分を含め、全体的に非常に多く、土師器の甕(91～102)が大半を占めていた。時期は6世紀前半と考えられる。

IV 遺物

遺物は、須恵器、土師器が整理箱に約120箱以上出土している。A地区、B地区併せてわずか400m²という面積からの出土であることを考えると、これは大変膨大な量であると言える。その大半は土師器で、器種は甕が圧倒的多数を占める。時期は大半が6世紀代だが、一部、赤塚編年B段階までのS字状口縁台付甕および、その時期の高杯等も出土している^①。

土師器は、甕、杯に関して主に口縁部の形態から下記のように分類した。(第7図)

甕A：口唇部の折り返しが明瞭なもの。

A-1：口縁部外面が若干外反するもの

A-2：口縁部外面がほぼ真っ直ぐなもの

A-3：口唇部への立ち上がりがそのまま真っ直ぐ上に引き上げられるもの。

甕B：口唇部の折り返しが不明瞭なもの。

甕A同様1～3類にわかれる。

甕C：口縁部が直立して口唇部まで立ち上がるもの

甕D：口唇部の折り返しが激しく、口唇部上方に平坦面を有するもの。

甕E：体部から口縁部にかけて真っ直ぐに立ち上がるもの。

甕F：いわゆるS字状の口縁を有するもの。

杯A：器高が高く椀タイプのもの。

A-1：口縁部は内彎し、口唇部の折り返しが明瞭。

A-2：口縁部は直立し、上方にそのまま立ち上

SZ4

調査区東端で検出された。北側および東側は調査区外に至る。残存長辺7.4m、残存短辺5.7mで、検出面からの深さは0.4mで底はほぼ水平である。

遺構埋土は大きく、灰褐色土、暗褐色土、淡黄褐色砂質土の3層に分かれる。出土遺物は非常に多量で、土師器の甕(16～26)、杯(27～29)、高杯(30～32)須恵器の杯身(33～35)、杯蓋(36・37)、短頸壺(38)、長頸壺、提瓶(39)等が出土した。6世紀前半から前半と考えられる。

がる。

杯B：器高が低く皿タイプのもの。

杯C：杯A・Bに脚が付くいわゆる高杯。

各遺物の分類については遺物観察表(p23・24)を参照されたい。

若干出土している須恵器について、すこし触れておくと、大体において、MT15～TK43に併行すると思われる^②。

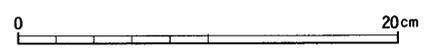
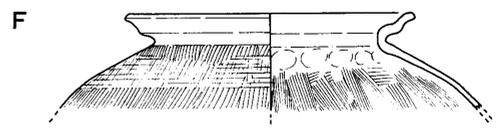
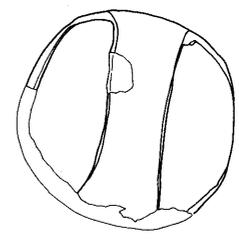
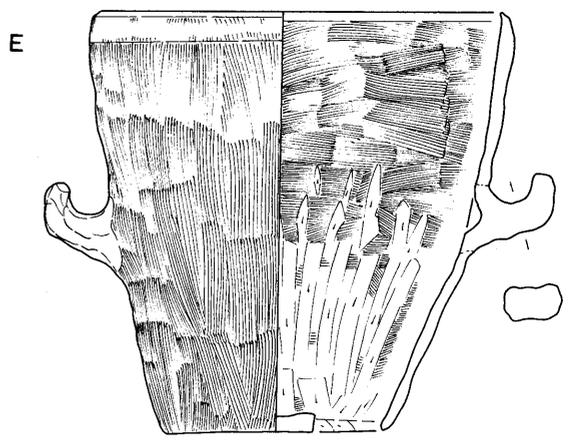
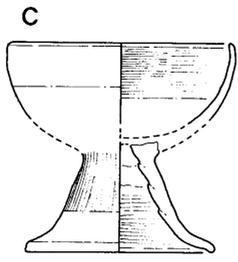
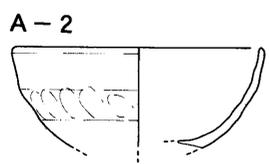
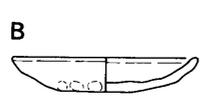
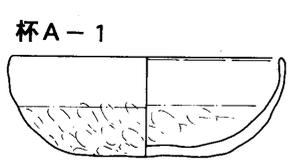
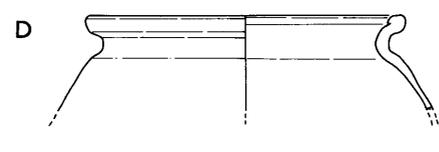
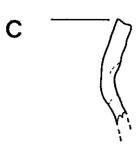
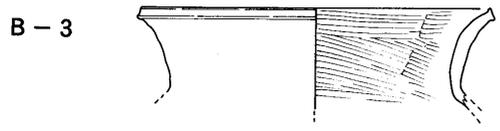
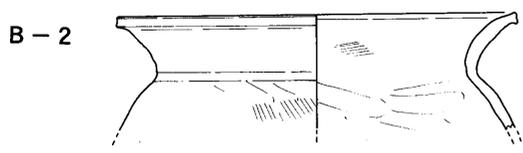
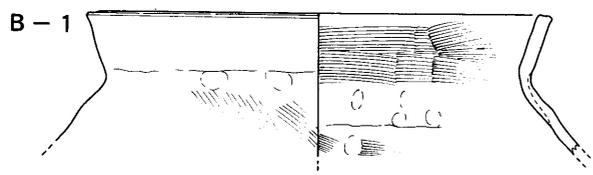
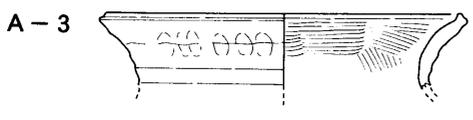
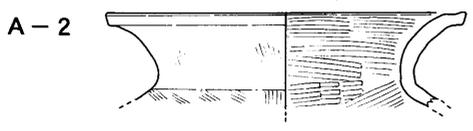
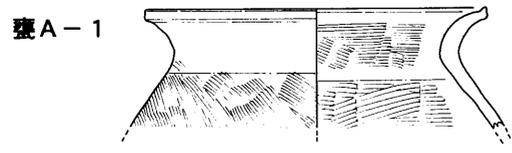
B地区のおもな遺構の杯身、杯蓋について、みていくと、SK17出土の杯身(81～83)は底部は丸く、受け部はやや長く口縁部は垂直的に立ち上がる。MT15～MT10併行に相当しよう。杯蓋(84～86)は天井部は平らで、85・86は稜線が認められる。同じくMT15～MT10に併行しよう。SZ4出土の杯身(33)は器高が若干低くなり、受け部はやや内側にはいる。TK43に併行しよう。杯蓋(36)は天井部は平らで、稜線が曖昧になる。MT15～MT10、同じく杯蓋(37)は若干新しく、MT10～TK43併行と思われる。SH10出土の杯身(44)は底部が丸くなり、器高も低くなる。TK43併行と思われる。

[註]

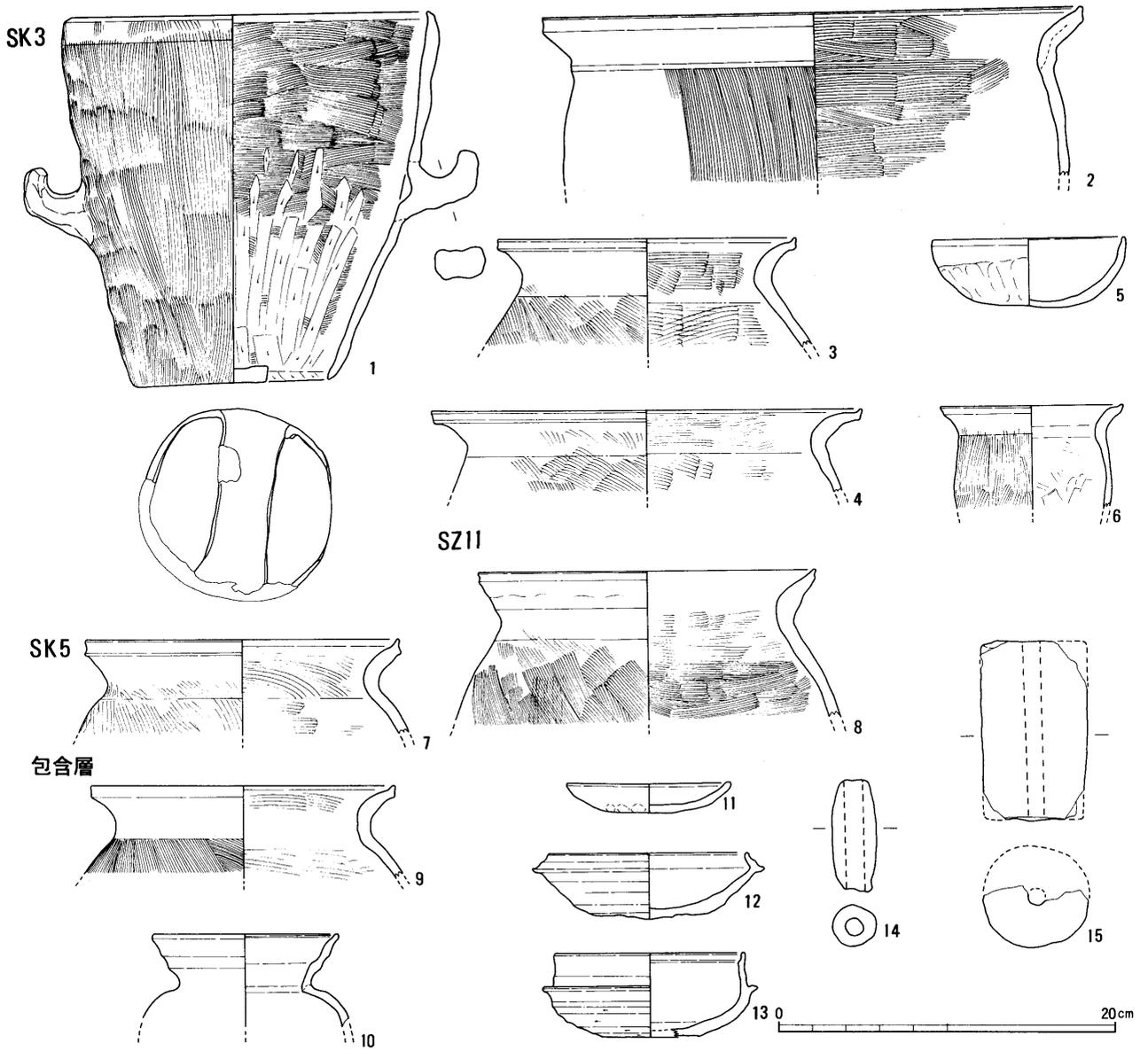
①赤塚次郎『廻間遺跡』財団法人 愛知県埋蔵文化財センター 1990

②須恵器の編年については以下の資料を参考とした。井藤 徹ほか『陶邑IV 大阪府文化財調査報告書 第31輯』大阪府教育委員会 1979

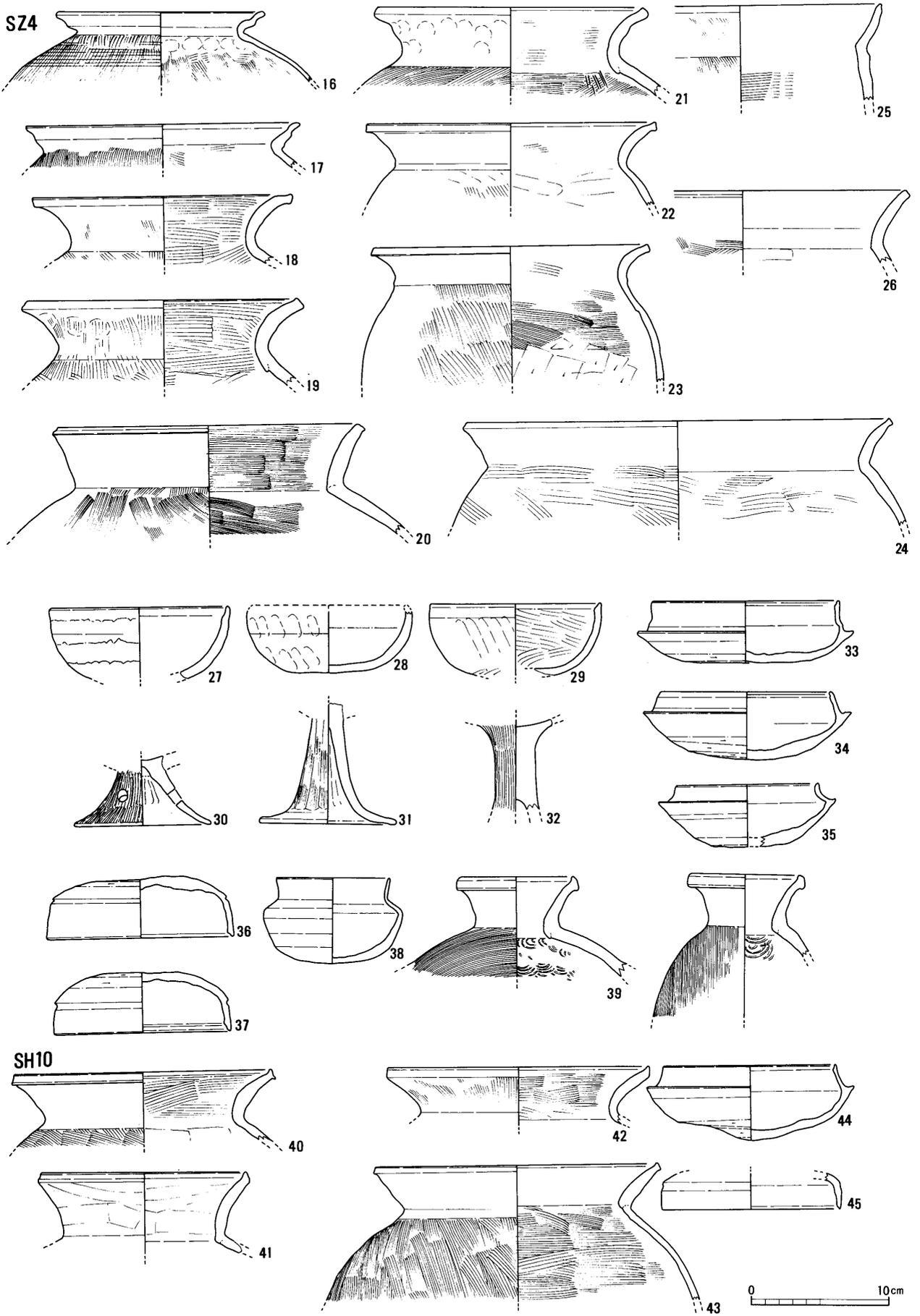
田辺昭三『須恵器大成』角川書店 1981



第7图 A·B地区 出土土師器分類图 (1:4)

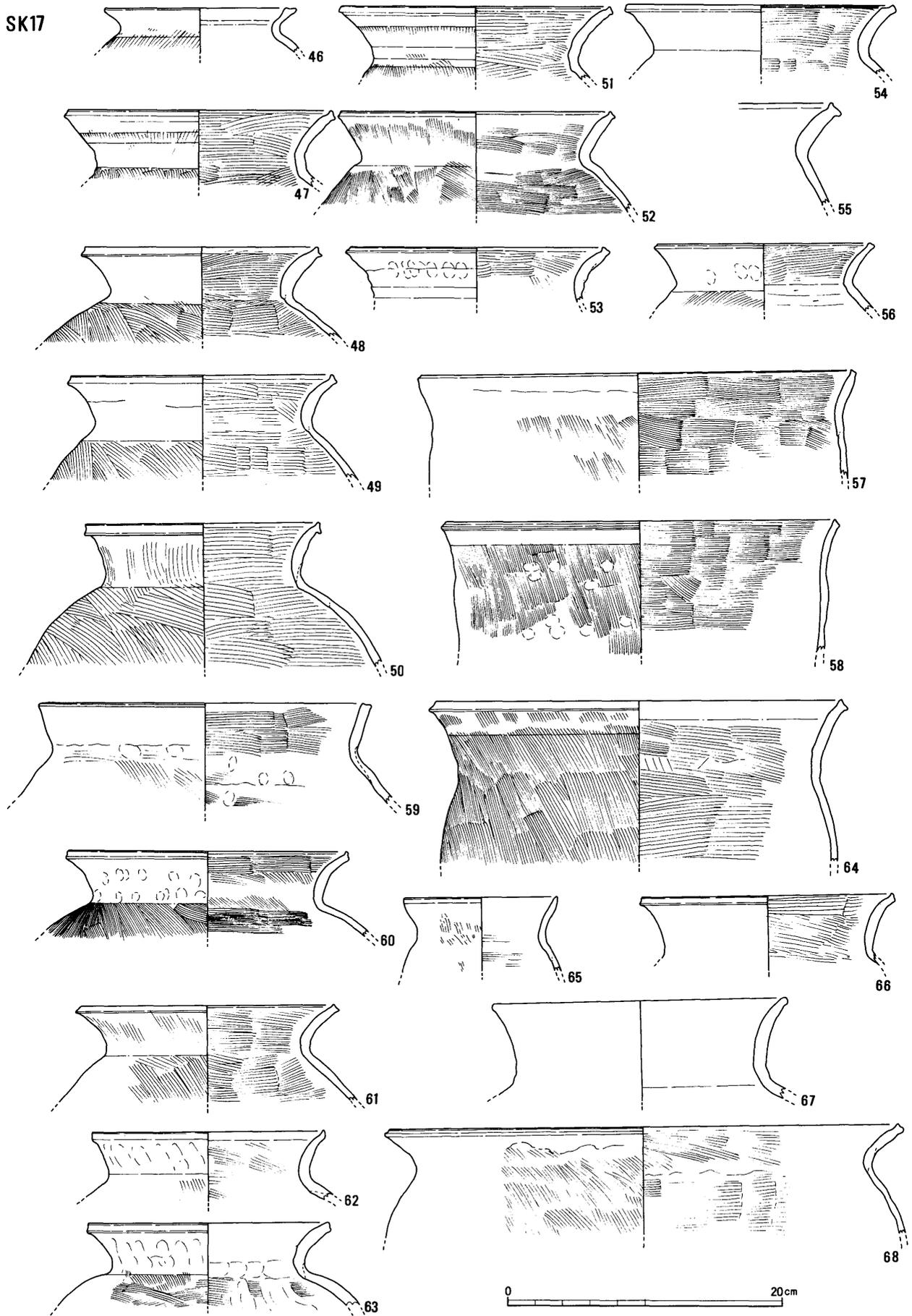


第8图 A地区 SK3·5·SZ11·包含層 出土遺物実測図(1:4)

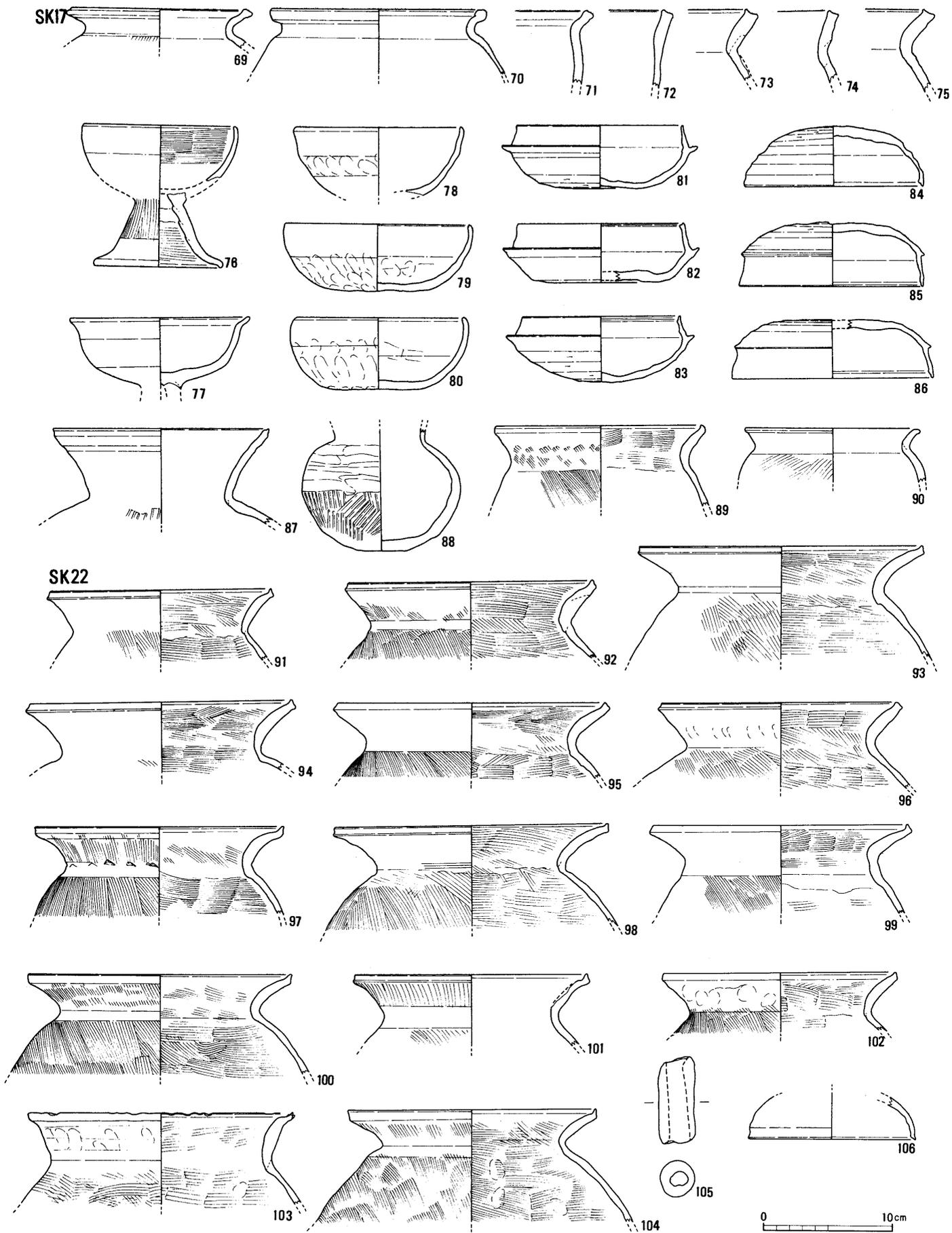


第9图 B地区 SZ4·SH10 出土遺物実測図(1:4)

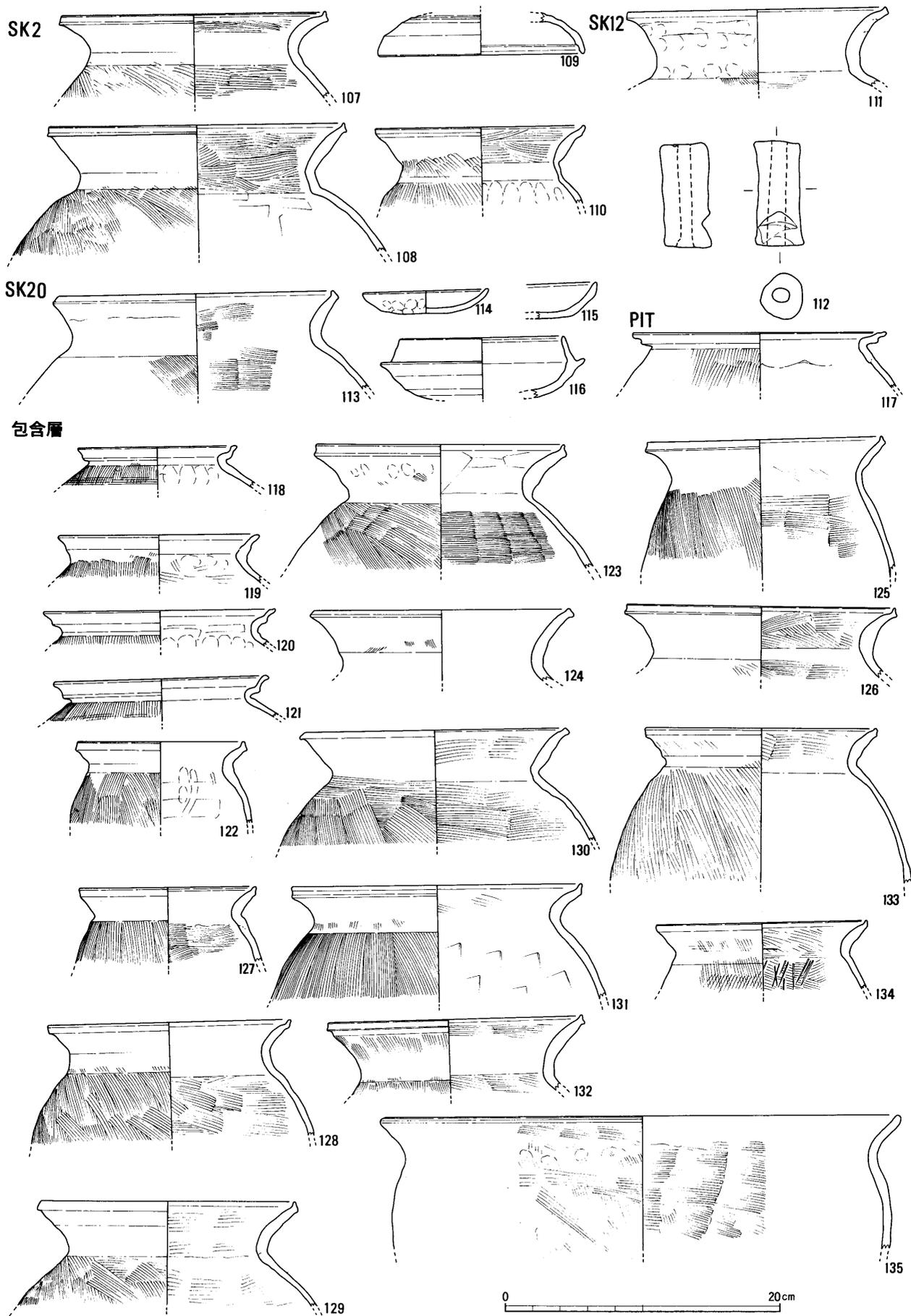
SK17



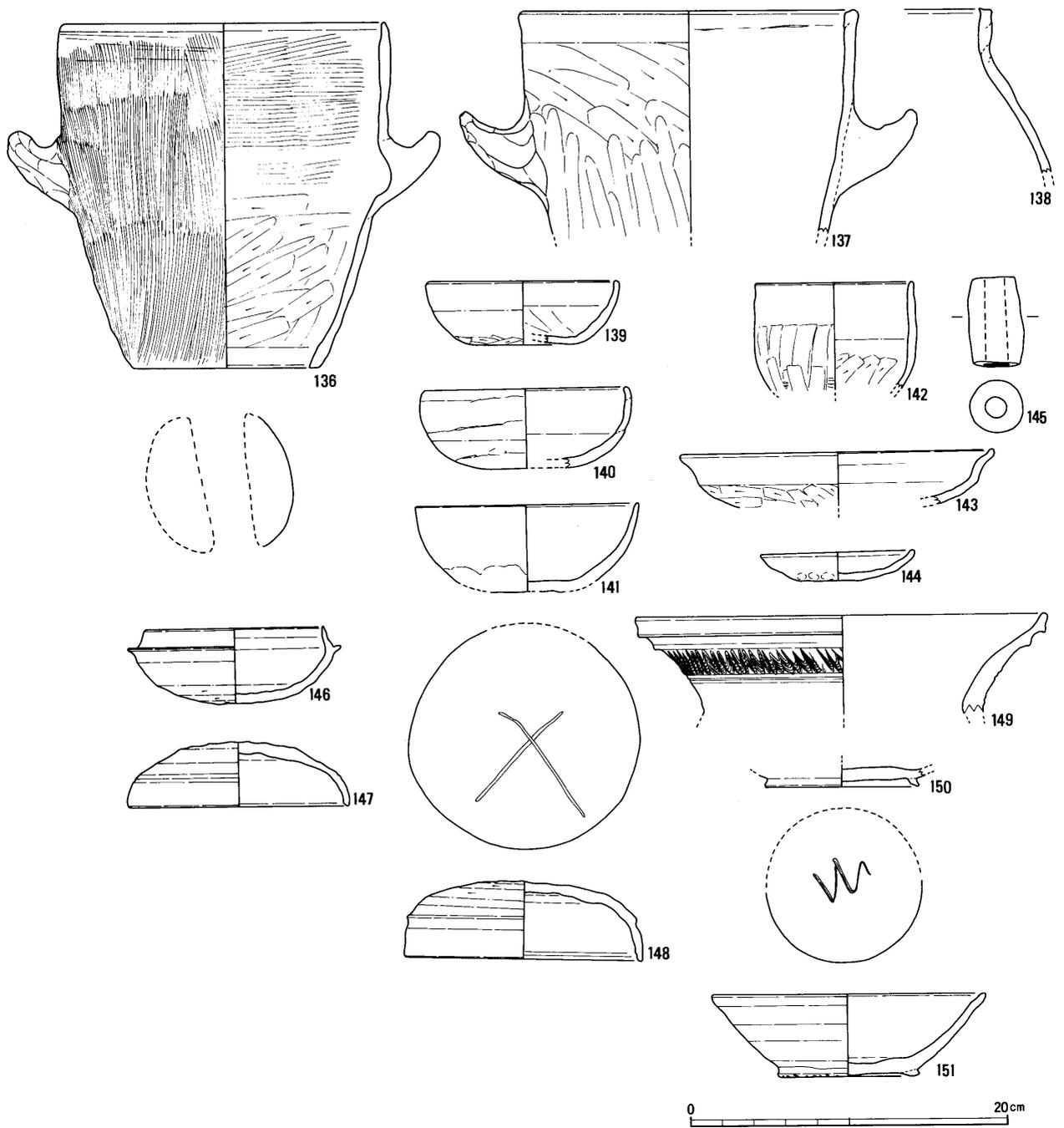
第10图 B地区 SK17 出土遺物実測図 (1 : 4)



第11图 B地区 SK17·22 出土遺物実測図 (1 : 4)



第12图 B地区 SK2·12·20·PIT·包含層出土遺物 (1:4)



第13図 B地区 包含層・表土出土遺物 (1:4)

V 高ノ御前遺跡出土土器の蛍光X線分析

奈良教育大学 三辻利一

1) はじめに

土師器の産地問題は大変難しい問題である。その最大の理由は生産地である窯跡がほとんど残っていない点にある。200基以上の土師器窯跡が集中して見つけられている北野遺跡は例外中の例外である。このように窯跡が残っていない土器の胎土研究は直接、産地問題に結びつけるのではなく、土器形式のような考古学的な条件で分類された結果に胎土分析の結果を対応させるというような形で進められてきた。これまでのデータをみていると、形式分類と胎土分析の対応は必ずしも良くない。このことは余程の特殊形式の土器でない限り、特定の場所ではつくっておらず、例えば、A型の甕といっても、それはいくつもの場所で製作されており、その結果、胎土分析のデータはばらばらになって一定しないのではないかと筆者は考えている。

本報告では北野遺跡から約7kmほど離れたところに在る、伊勢市の高ノ御前遺跡から出土した土師器と須恵器の蛍光X線分析の結果について報告する。

2) 分析結果

土師器の分析データは表1にまとめられている。全分析値は岩石標準試料J G-1による標準化値で表示されている。

データ解析では分類された土器形式ごとにK-C a分布図とR b-S r分布図を作成して、土器胎土を比較した。現在のところ、このような複雑系を数式処理で簡単に分類する図式は出来上がっていない。両分布図上で、分類の手探りをしている段階にある。

第14・15図には甕A類のK-C a分布図とR b-S r分布図を示してある。甕A類はさらに、A-1、2、3類の3種に分類されている。ところが、第14・15図を見ても分かるように、特にA-1類、A-2類、A-3類と分かれて分布している訳ではなく、むしろ、三者が混在して一つの領域を形成していると考えられる。そこで、甕A類の試料をできるだけ多く包含し、領域をできるだけ狭くするようにして

任意に長方形の領域を描いてみた。これを高ノ御前領域とした。この領域は定量的に領界を示している訳ではないが、他の領域と比較対象するには大変便利である。第14・15図には同じ要領で描いた北野領域を示してある。北野領域と高ノ御前領域とは全く異なる領域であることがわかる。したがって、高ノ御前遺跡出土の土師器のほとんどが北野遺跡の製品ではないことがわかる。ただNo.34のA-2類の甕は両図で北野領域のほぼ中央に分布しており、北野遺跡の製品である可能性が高い。また、高ノ御前領域の右端にまとまって分布するNo.31、32、33、45の4点のA-2類の甕も他の甕とは異なる胎土を持っている可能性があり、別産地の製品かもしれない。このように、いくつかの産地の製品が混ざっているため、高ノ御前領域は横に延びて、大きな領域になったものと考えられる。ここに示された高ノ御前領域は一産地の領域としては広すぎる。

次に、甕1類のK-C a分布図とR b-S r分布図を第16・17図に示す。両図において、特に、B-1類、B-2類、B-3類という具合に、形式通りに分かれて分布してはいない。したがって、形式分類と胎土との関係はない様に思われる。両図で高ノ御前領域の右端に分布しているNo.55、56、68の3点はA類のNo. 31、32、33、45と同じ胎土であり、同じ所で作られた製品である可能性がある。また、両図で北野領域に分布したNo.54、62の2点のB-1類の甕は北野遺跡で作られた製品である可能性を持つ。

第18・19図には甕C、D、E、F類のK-C a分布図とR b-S r分布図を示す。この図でも、土器形式と胎土とは無関係のようにみえる。そして、高ノ御前領域の右端部分に分布したNo.83、86、88、90、95、96の甕はNo.31、32、33、45、55、56、68などと同じ胎土である可能性がある。

第20・21図には杯類のK-C a分布図とR b-S r分布図を示す。杯類は高ノ御前領域内で甕類に比

べて偏って分布しているようにみえる。もしかしたら、甕類とは異なる胎土であるかもしれない。さらに、C類とした杯の多くは高ノ御前領域の右端部分に分布しており、前述した試料と同じ胎土である可能性がある。C類でもNo.117は別胎土である。これは、北野遺跡の杯と同じ胎土であると推定される。Fe量が多い点でもよく対応している。No.115、116もともにFe量が多く、胎土は赤色味を帯びている。No.117とは別胎土である。また、No.104、106、107のA-2類はこれまでは出てこなかった胎土である。これら3点の杯は同一場所で作られた製品とみられる。このように杯類もいくつかの胎土をもつものが含まれており、いくつかの産地の製品が混ざっていることは確実である。ただ、土器形式と胎土とはよく対応していないだけである。

上述してきたように、高ノ御前遺跡にはいくつもの産地から供給されたと思われる甕、杯があることがわかった。この中にはごく少数ではあるが、約7kmほど離れた北野遺跡から供給されたと推定される甕（No.34、54、62）と杯（No.117）が含まれている。この結果、高ノ御前領域は広がったものと解釈される。つまり、高ノ御前遺跡は胎土分析のデータからも、土師器の集積地であったことが示された訳である。以外であったのは、土師器の一大産地であった北野遺跡の製品が驚くほど少ない点である。何故、北野遺跡の製品が少ないのか、このことは北野遺跡の性格を考えるうえで重要な問題を含んでいるように思われる。さらにまた、土師器集積所として高ノ御前遺跡の性格も暗示されているようにも思われる。

第2表には高ノ御前遺跡出土須恵器の分析値がまとめられている。これらの須恵器がいくつかの産地から供給された可能性があるとして、その産地を定性的に探るために分布図を作成した。第22・23図には、K-Ca分布図とRb-Sr分布図を示す。一応、比較対象のため、陶邑領域を描いておいた。地元の原窯群と徳居窯群の試料数が少ないので、領域を描かずにおいた。両図を見比べると、No.119とNo.124、また、No.118とNo.120はそれぞれ、類似した胎土であることがわかる。そこで、第2表を点検すると、Fe、Na因子でもこれらは類似して

おり、それぞれ同一産地の製品と推定される。また、陶邑産の可能性のある須恵器があるとすれば、両図で陶邑領域に分布する

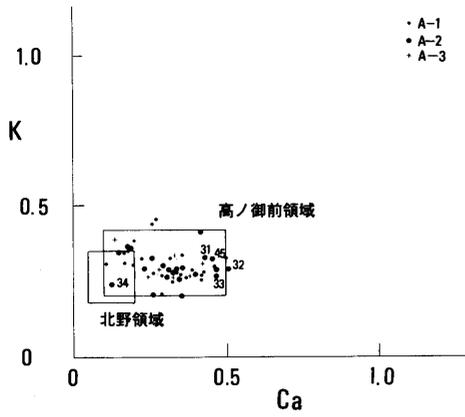
No.119とNo.124の2点の須恵器である。No.118とNo.120、それに、No.121、122、125はいずれも三重県産の須恵器と推定される。No.123と126はK量が多い点で、これに対応する窯は三重県内には存在せず、したがって、この2点は県外からの搬入品と推定される。目下のところ、その産地は不明である。

| 器種 | No. | | 遺物No. | 時 期 | 分 析 值 | | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | K | C a | F e | R b | S r | N a | |
| 甕 A-1 | No.001 | 9-948 | 91 | 7 C | 0.330 | 0.503 | 1.73 | 0.303 | 0.823 | 0.272 | |
| | No.002 | 9-949 | 93 | 7 C | 0.283 | 0.426 | 1.72 | 0.299 | 0.764 | 0.091 | |
| | No.003 | 9-950 | 96 | 7 C | 0.256 | 0.423 | 2.23 | 0.238 | 0.630 | 0.112 | |
| | No.004 | 9-951 | 97 | 7 C | 0.265 | 0.365 | 1.59 | 0.323 | 0.691 | 0.091 | |
| | No.005 | 9-952 | 92 | 7 C | 0.269 | 0.418 | 1.43 | 0.329 | 0.644 | 0.072 | |
| | No.006 | 9-953 | 94 | 7 C | 0.307 | 0.174 | 1.58 | 0.282 | 0.320 | 0.098 | |
| | No.007 | 9-954 | 98 | 7 C | 0.287 | 0.394 | 1.72 | 0.298 | 0.729 | 0.084 | |
| | No.008 | 9-955 | 95 | 7 C | 0.337 | 0.363 | 1.38 | 0.368 | 0.753 | 0.128 | |
| | No.009 | 9-956 | 47 | 7 C | 0.214 | 0.292 | 1.84 | 0.229 | 0.467 | 0.055 | |
| | No.010 | 9-957 | 49 | 7 C | 0.332 | 0.228 | 1.40 | 0.341 | 0.465 | 0.119 | |
| | No.011 | 9-958 | 48 | 7 C | 0.273 | 0.291 | 2.02 | 0.248 | 0.437 | 0.075 | |
| | No.012 | 9-959 | 50 | 7 C | 0.296 | 0.461 | 2.44 | 0.450 | 0.734 | 0.145 | |
| | No.013 | 9-960 | 40 | 7 C | 0.247 | 0.323 | 1.93 | 0.276 | 0.455 | 0.066 | |
| | No.014 | 9-961 | 108 | 7 C | 0.363 | 0.191 | 1.34 | 0.306 | 0.394 | 0.129 | |
| | No.015 | 9-962 | 107 | 7 C | 0.311 | 0.111 | 1.47 | 0.277 | 0.294 | 0.075 | |
| | No.016 | 9-963 | 4 | 7 C | 0.312 | 0.195 | 1.96 | 0.247 | 0.349 | 0.115 | |
| | No.017 | 9-964 | 3 | 7 C | 0.331 | 0.321 | 1.83 | 0.305 | 0.506 | 0.153 | |
| | No.018 | 9-965 | 7 | 7 C | 0.436 | 0.258 | 1.76 | 0.293 | 0.439 | 0.194 | |
| | No.019 | 9-966 | 124 | 7 C | 0.276 | 0.337 | 1.94 | 0.324 | 0.614 | 0.080 | |
| | No.020 | 9-967 | 123 | 7 C | 0.351 | 0.173 | 1.70 | 0.364 | 0.374 | 0.149 | |
| | No.021 | 9-968 | 127 | 7 C | 0.459 | 0.273 | 2.50 | 0.301 | 0.410 | 0.093 | |
| | No.022 | 9-969 | 122 | 7 C | 0.390 | 0.202 | 1.73 | 0.280 | 0.372 | 0.083 | |
| | No.023 | 9-970 | 126 | 7 C | 0.269 | 0.347 | 1.85 | 0.297 | 0.629 | 0.094 | |
| | No.024 | 9-971 | 125 | 7 C | 0.277 | 0.257 | 1.51 | 0.263 | 0.513 | 0.112 | |
| 甕 A-2 | No.025 | 9-972 | 100 | 7 C | 0.286 | 0.315 | 1.47 | 0.344 | 0.596 | 0.075 | |
| | No.026 | 9-973 | 105 | 7 C | 0.350 | 0.149 | 1.46 | 0.337 | 0.309 | 0.087 | |
| | No.027 | 9-974 | 104 | 7 C | 0.259 | 0.351 | 2.00 | 0.318 | 0.667 | 0.075 | |
| | No.028 | 9-975 | 101 | 7 C | 0.362 | 0.194 | 1.91 | 0.326 | 0.365 | 0.122 | |
| | No.029 | 9-976 | 99 | 7 C | 0.294 | 0.340 | 1.67 | 0.382 | 0.582 | 0.084 | |
| | No.030 | 9-977 | 97 | 7 C | 0.299 | 0.291 | 1.49 | 0.286 | 0.591 | 0.077 | |
| | No.031 | 9-978 | 19 | 7 C | 0.329 | 0.434 | 1.41 | 0.330 | 0.969 | 0.115 | |
| | No.032 | 9-979 | 18 | 7 C | 0.293 | 0.512 | 1.65 | 0.255 | 1.13 | 0.115 | |
| | No.033 | 9-980 | 21 | 7 C | 0.273 | 0.471 | 1.88 | 0.255 | 0.882 | 0.123 | |
| | No.034 | 9-981 | 55 | 7 C | 0.240 | 0.127 | 1.79 | 0.212 | 0.203 | 0.055 | |
| | No.035 | 9-982 | 51 | 7 C | 0.196 | 0.357 | 1.72 | 0.261 | 0.574 | 0.058 | |
| | No.036 | 9-983 | 52 | 7 C | 0.270 | 0.310 | 1.62 | 0.418 | 0.525 | 0.051 | |
| | No.037 | 9-984 | 111 | 7 C | 0.285 | 0.469 | 1.64 | 0.307 | 0.712 | 0.125 | |
| | No.038 | 9-985 | 43 | 7 C | 0.213 | 0.262 | 1.86 | 0.242 | 0.559 | 0.067 | |
| | No.039 | 9-986 | 42 | 7 C | 0.293 | 0.231 | 1.46 | 0.350 | 0.481 | 0.069 | |
| | No.040 | 9-987 | 128 | 7 C | 0.371 | 0.177 | 1.91 | 0.303 | 0.339 | 0.106 | |
| | No.041 | 9-988 | 132 | 7 C | 0.283 | 0.322 | 1.79 | 0.349 | 0.646 | 0.118 | |
| | No.042 | 9-989 | | 7 C | 0.417 | 0.415 | 1.84 | 0.415 | 0.580 | 0.257 | |
| | No.043 | 9-990 | 129 | 7 C | 0.270 | 0.400 | 2.32 | 0.263 | 0.693 | 0.098 | |
| | No.044 | 9-991 | 131 | 7 C | 0.291 | 0.353 | 1.46 | 0.244 | 0.608 | 0.106 | |
| | No.045 | 9-992 | 130 | 7 C | 0.319 | 0.461 | 1.49 | 0.333 | 1.03 | 0.112 | |
| | No.046 | 9-993 | 9 | 7 C | 0.330 | 0.264 | 2.33 | 0.287 | 0.403 | 0.149 | |
| | 甕 A-3 | No.047 | 9-994 | 53 | 7 C | 0.267 | 0.245 | 1.93 | 0.289 | 0.386 | 0.081 |
| | | No.048 | 9-995 | 56 | 7 C | 0.307 | 0.425 | 1.84 | 0.270 | 0.671 | 0.136 |
| No.049 | | 9-996 | 54 | 7 C | 0.270 | 0.377 | 1.70 | 0.315 | 0.622 | 0.105 | |
| No.050 | | 9-997 | 57 | 7 C | 0.339 | 0.332 | 1.54 | 0.275 | 0.604 | 0.121 | |
| No.051 | | 9-998 | 110 | 7 C | 0.292 | 0.279 | 1.93 | 0.229 | 0.426 | 0.093 | |
| No.052 | | 9-999 | 113 | 7 C | 0.269 | 0.325 | 1.42 | 0.295 | 0.560 | 0.068 | |
| No.053 | | 9-1000 | 88 | 7 C | 0.393 | 0.136 | 1.66 | 0.293 | 0.293 | 0.058 | |
| 甕 B-1 | No.054 | 9-1001 | 20 | 7 C | 0.293 | 0.160 | 1.93 | 0.258 | 0.276 | 0.067 | |
| | No.055 | 9-1002 | 26 | 7 C | 0.253 | 0.504 | 1.87 | 0.299 | 1.03 | 0.102 | |
| | No.056 | 9-1003 | 25 | 7 C | 0.323 | 0.415 | 2.03 | 0.257 | 0.962 | 0.117 | |
| | No.057 | 9-1004 | 73 | 7 C | 0.299 | 0.369 | 2.27 | 0.259 | 0.642 | 0.190 | |
| | No.058 | 9-1005 | | 7 C | 0.330 | 0.294 | 1.61 | 0.339 | 0.563 | 0.162 | |
| | No.059 | 9-1006 | 41 | 7 C | 0.549 | 0.340 | 2.52 | 0.749 | 0.690 | 0.143 | |
| | No.060 | 9-1007 | | 7 C | 0.322 | 0.232 | 1.65 | 0.282 | 0.408 | 0.071 | |
| | No.061 | 9-1008 | 8 | 7 C | 0.421 | 0.429 | 2.71 | 0.373 | 0.460 | 0.197 | |
| | No.062 | 9-1009 | 2 | 7 C | 0.292 | 0.135 | 1.32 | 0.239 | 0.312 | 0.110 | |
| 甕 B-2 | No.063 | 9-1010 | 62 | 7 C | 0.313 | 0.361 | 1.51 | 0.238 | 0.584 | 0.126 | |

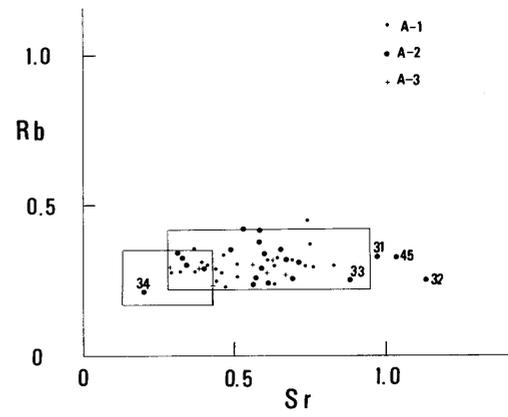
第1表 出土遺物胎土分析表(1)

| 器種 | No. | | 遺物No. | 時 期 | 分 析 值 | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|-----|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | | | | | K | C a | F e | R b | S r | N a |
| | No.064 | 9-1011 | 61 | 7 C | 0.270 | 0.366 | 1.91 | 0.230 | 0.474 | 0.067 |
| | No.065 | 9-1012 | 63 | 7 C | 0.293 | 0.189 | 1.79 | 0.235 | 0.329 | 0.054 |
| | No.066 | 9-1013 | 24 | 7 C | 0.277 | 0.325 | 1.98 | 0.291 | 0.562 | 0.080 |
| | No.067 | 9-1014 | 23 | 7 C | 0.275 | 0.485 | 1.88 | 0.267 | 0.705 | 0.094 |
| | No.068 | 9-1015 | 22 | 7 C | 0.322 | 0.595 | 1.64 | 0.311 | 1.440 | 0.126 |
| | No.069 | 9-1016 | 64 | 7 C | 0.285 | 0.352 | 1.94 | 0.270 | 0.568 | 0.110 |
| 甕 B-3 | No.070 | 9-1017 | 68 | 7 C | 0.284 | 0.282 | 2.25 | 0.236 | 0.385 | 0.094 |
| | No.071 | 9-1018 | 66 | 7 C | 0.197 | 0.214 | 1.73 | 0.327 | 0.343 | 0.058 |
| | No.072 | 9-1019 | 65 | 7 C | 0.404 | 0.263 | 3.10 | 0.259 | 0.424 | 0.179 |
| | No.073 | 9-1020 | 67 | 7 C | 0.324 | 0.269 | 1.66 | 0.273 | 0.522 | 0.090 |
| | No.074 | 9-1021 | 6 | 7 C | 0.325 | 0.157 | 2.11 | 0.277 | 0.307 | 0.086 |
| | No.075 | 9-1022 | 135 | 7 C | 0.258 | 0.305 | 1.55 | 0.283 | 0.432 | 0.120 |
| | No.076 | 9-1023 | 134 | 7 C | 0.477 | 0.488 | 1.80 | 0.306 | 0.715 | 0.214 |
| | No.077 | 9-1024 | 133 | 7 C | 0.375 | 0.448 | 2.60 | 0.341 | 0.452 | 0.273 |
| 甕 C | No.078 | 9-1025 | 74 | 7 C | 0.315 | 0.380 | 1.61 | 0.290 | 0.673 | 0.097 |
| | No.079 | 9-1026 | 73 | 7 C | 0.336 | 0.342 | 2.08 | 0.256 | 0.609 | 0.112 |
| | No.080 | 9-1027 | 72 | 7 C | 0.296 | 0.218 | 1.53 | 0.241 | 0.364 | 0.090 |
| | No.081 | 9-1028 | 75 | 7 C | 0.281 | 0.417 | 2.08 | 0.255 | 0.565 | 0.079 |
| | No.082 | 9-1029 | 138 | 7 C | 0.277 | 0.178 | 1.67 | 0.284 | 0.387 | 0.079 |
| 甕 D | No.083 | 9-1030 | 85 | 7 C | 0.382 | 0.489 | 1.26 | 0.431 | 0.808 | 0.109 |
| | No.084 | 9-1031 | 86 | 7 C | 0.342 | 0.170 | 1.14 | 0.313 | 0.371 | 0.138 |
| | No.085 | 9-1032 | 69 | 7 C | 0.368 | 0.320 | 1.43 | 0.350 | 0.559 | 0.093 |
| | No.086 | 9-1033 | 90 | 7 C | 0.376 | 0.470 | 1.59 | 0.300 | 0.830 | 0.201 |
| 甕 E | No.087 | 9-1034 | 1 | 7 C | 0.281 | 0.199 | 2.27 | 0.255 | 0.302 | 0.096 |
| | No.088 | 9-1035 | 137 | 7 C | 0.310 | 0.589 | 1.70 | 0.280 | 0.925 | 0.156 |
| | No.089 | 9-1036 | 136 | 7 C | 0.383 | 0.422 | 1.92 | 0.310 | 0.686 | 0.231 |
| 甕 F | No.090 | 9-1037 | 16 | 7 C | 0.346 | 0.492 | 1.08 | 0.397 | 0.798 | 0.176 |
| | No.091 | 9-1038 | 17 | 7 C | 0.422 | 0.345 | 1.33 | 0.344 | 0.703 | 0.329 |
| | No.092 | 9-1039 | 46 | 7 C | 0.400 | 0.217 | 1.32 | 0.354 | 0.444 | 0.058 |
| | No.093 | 9-1040 | | 7 C | 0.376 | 0.258 | 1.61 | 0.330 | 0.436 | 0.142 |
| | No.094 | 9-1041 | 120 | 7 C | 0.366 | 0.386 | 1.30 | 0.411 | 0.603 | 0.156 |
| | No.095 | 9-1042 | 121 | 7 C | 0.362 | 0.532 | 1.31 | 0.418 | 0.881 | 0.173 |
| | No.096 | 9-1043 | 118 | 7 C | 0.386 | 0.450 | 1.49 | 0.339 | 0.940 | 0.165 |
| | No.097 | 9-1044 | 119 | 7 C | 0.411 | 0.336 | 1.38 | 0.316 | 0.674 | 0.317 |
| 杯 A-1 | No.098 | 9-1045 | 80 | 7 C | 0.306 | 0.402 | 4.85 | 0.215 | 0.432 | 0.109 |
| | No.099 | 9-1046 | 79 | 7 C | 0.290 | 0.461 | 0.49 | 0.212 | 0.485 | 0.072 |
| | No.100 | 9-1047 | 28 | 7 C | 0.337 | 0.446 | 1.50 | 0.297 | 0.931 | 0.102 |
| | No.101 | 9-1048 | 140 | 7 C | 0.422 | 0.441 | 5.12 | 0.349 | 0.450 | 0.157 |
| | No.102 | 9-1049 | 139 | 7 C | 0.298 | 0.363 | 3.59 | 0.288 | 0.642 | 0.093 |
| 杯 A-2 | No.103 | 9-1050 | 78 | 7 C | 0.301 | 0.364 | 4.90 | 0.222 | 0.400 | 0.102 |
| | No.104 | 9-1051 | 27 | 7 C | 0.435 | 0.905 | 3.04 | 0.598 | 1.29 | 0.195 |
| | No.105 | 9-1052 | 29 | 7 C | 0.265 | 0.434 | 1.81 | 0.251 | 0.727 | 0.082 |
| | No.106 | 9-1053 | 142 | 7 C | 0.475 | 0.686 | 2.81 | 0.579 | 0.892 | 0.189 |
| | No.107 | 9-1054 | 141 | 7 C | 0.429 | 0.844 | 3.60 | 0.680 | 1.18 | 0.187 |
| 杯 B | No.108 | 9-1055 | 114 | 7 C | 0.301 | 0.354 | 2.40 | 0.243 | 0.593 | 0.100 |
| | No.109 | 9-1056 | 115 | 7 C | 0.284 | 0.332 | 1.93 | 0.259 | 0.579 | 0.094 |
| | No.110 | 9-1057 | 11 | 7 C | 0.318 | 0.338 | 1.16 | 0.244 | 1.25 | 0.099 |
| | No.111 | 9-1058 | 143 | 7 C | 0.323 | 0.220 | 1.74 | 0.240 | 0.364 | 0.113 |
| 杯 C | No.112 | 9-1059 | 32 | 7 C | 0.302 | 0.531 | 2.95 | 0.308 | 0.806 | 0.107 |
| | No.113 | 9-1060 | 30 | 7 C | 0.333 | 0.497 | 1.52 | 0.288 | 0.866 | 0.143 |
| | No.114 | 9-1061 | 31 | 7 C | 0.323 | 0.563 | 1.55 | 0.305 | 1.02 | 0.154 |
| | No.115 | 9-1062 | 77 | 7 C | 0.274 | 0.404 | 4.13 | 0.213 | 0.627 | 0.097 |
| | No.116 | 9-1063 | 76 | 7 C | 0.284 | 0.490 | 3.71 | 0.212 | 0.652 | 0.065 |
| | No.117 | 9-1064 | | 7 C | 0.477 | 0.254 | 4.87 | 0.461 | 0.380 | 0.182 |
| 杯身 | No.118 | 9-1065 | 81 | 7 C | 0.328 | 0.061 | 2.49 | 0.353 | 0.190 | 0.078 |
| 杯蓋 | No.119 | 9-1066 | 36 | 7 C | 0.466 | 0.154 | 2.64 | 0.639 | 0.335 | 0.221 |
| 杯蓋 | No.120 | 9-1067 | 85 | 7 C | 0.406 | 0.104 | 2.64 | 0.357 | 0.267 | 0.104 |
| 杯蓋 | No.121 | 9-1068 | 45 | 7 C | 0.471 | 0.431 | 3.19 | 0.453 | 0.465 | 0.340 |
| 杯蓋 | No.122 | 9-1069 | 109 | 7 C | 0.429 | 0.300 | 1.69 | 0.385 | 0.656 | 0.195 |
| 杯蓋 | No.123 | 9-1070 | 106 | 7 C | 0.663 | 0.089 | 2.44 | 0.756 | 0.242 | 0.196 |
| 杯身 | No.124 | 9-1071 | 116 | 7 C | 0.485 | 0.142 | 2.34 | 0.637 | 0.322 | 0.162 |
| 甕 | No.125 | 9-1072 | 87 | 7 C | 0.397 | 0.358 | 2.07 | 0.374 | 0.425 | 0.245 |
| 杯身 | No.126 | 9-1073 | 146 | 7 C | 0.663 | 0.189 | 2.64 | 0.648 | 0.430 | 0.331 |

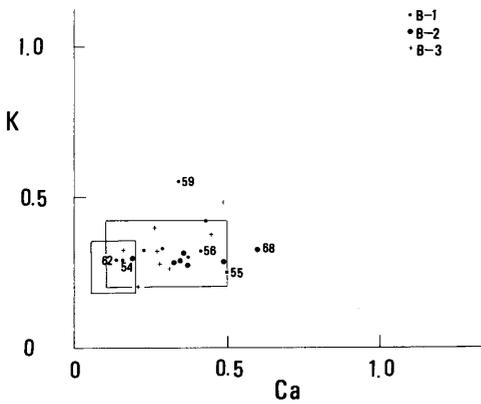
第2表 出土遺物胎土分析表(2)



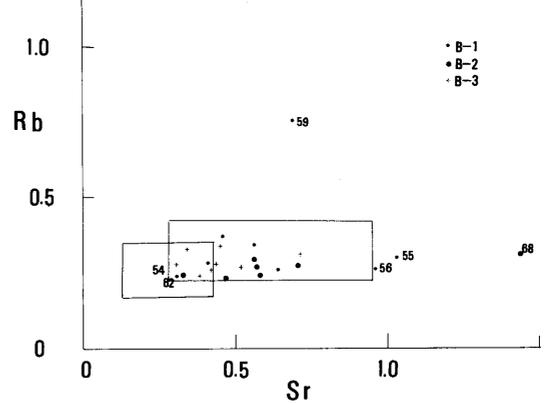
第14図 甕A類のK-Ca分布図



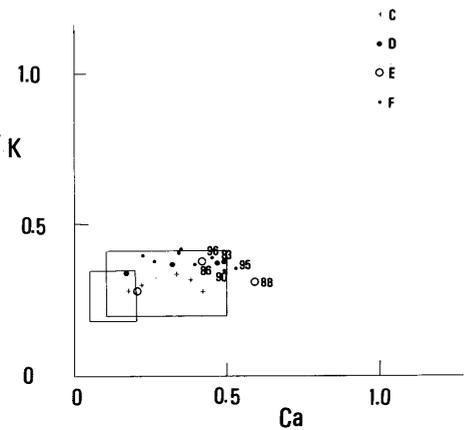
第15図 甕A類のRb-Sr分布図



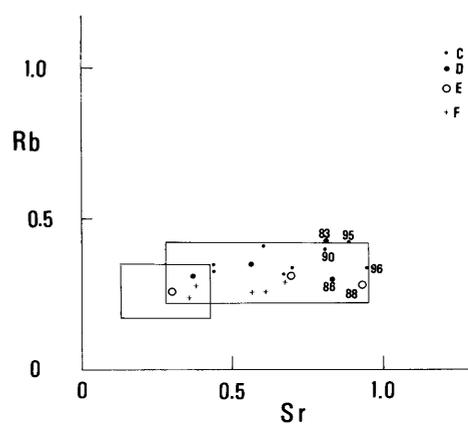
第16図 甕B類のK-Ca分布図



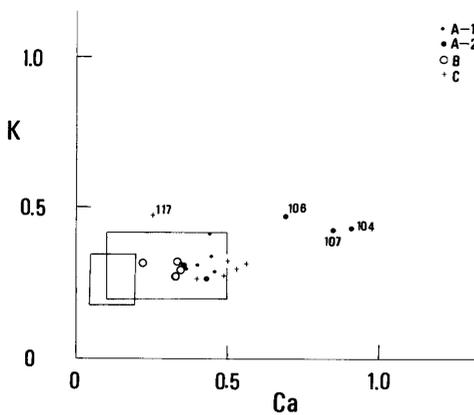
第17図 甕B類のRb-Sr分布図



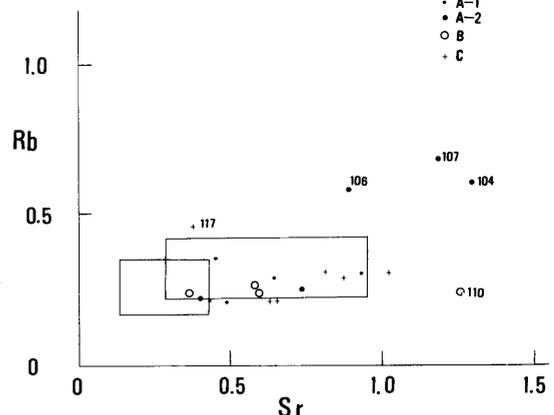
第18図 甕C・D・E・F類のK-Ca分布図



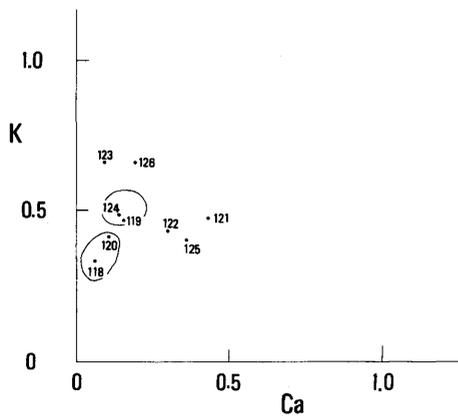
第19図 甕C・D・E・F類のRb-Sr分布図



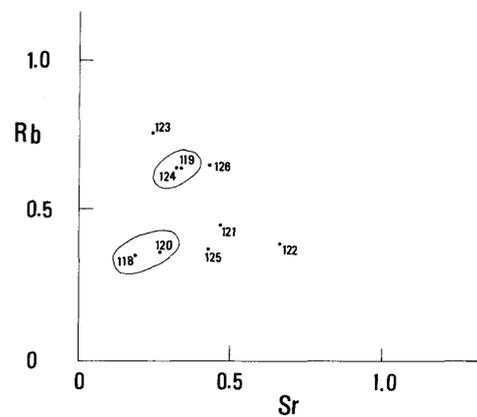
第20図 杯類のK-Ca分布図



第21図 杯類のRb-Sr分布図



第22図 須恵器のK-Ca分布図



第23図 須恵器のRb-Sr分布図

VI 結 語

今回の調査では、堅穴住居等の遺構からの土師器の出土もさることながら、包含層からの出土も大量なものであった。その量は一般的な集落跡からの遺物の出土というにはあまりにも多いものであった。そのため、一般的な集落跡と考えない場合、どういった性格の遺跡かということになる。

今回、図示した遺物は全て、V章で示した通り、三辻氏に蛍光X線による胎土分析を行なって頂いた。三辻氏の報文と重なるところが多いが、その結果を二つの点から着眼してみたい。

まず、分類ごとに領域が分離できるかどうかという点については、胎土分析の結果をみる限り、分離できないと言わざるを得ない。

次に当遺跡の出土土師器をひとつの領域にまとめられるかという点についてみてみたい。

この点は胎土分析の結果からいくつかの産地の製品が混ざっているため、高ノ御前領域は広がったと見られる。当遺跡から約7km離れたところに、北野遺跡⁽¹⁾という土師器の一大生産地である遺跡がある。少数ではあるが、この北野遺跡から供給されたと推定される土師器がある。この結果、高ノ御前領域は広がったと考えられる。従って、当遺跡は、胎土分析の結果や、狭い範囲内での大量の土器の出土が見られたことから、位置と環境でも述べた通り、港に近い当遺跡の立地を考えると、周辺地域の土師器を出荷する際の集積地であったと推定することができる。

しかし、この地域の土師器の一大生産地である北野遺跡の製品を多く含むであろうという当初の推定とは裏腹に、北野遺跡の製品が少ないということや土師器に比べて、須恵器が極端に少ないことなど不明な点も多い。

また、時期については、6世紀前半の遺物も存在するが、遺跡の中心的な時期は後半から後半であったと考えられよう。

今後、周辺遺跡の調査が進むにつれて、より多くの比較資料の蓄積を期待したい。

【註】

- (1) 田村陽「北野遺跡」『平成2年度農業基盤整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告—第二分冊—』三重県教育委員会・三重県埋蔵文化財センター 1991
竹田憲治『北野遺跡（第5次）発掘調査概報』三重県埋蔵文化財センター 1996

| 番号 | 器種 | 計測値 | | | 調整・釉薬等の特徴 | | 色調 | 口縁部 残存率 | 出土 位置 | 分類 | 登録 番号 | |
|----|-----|-----|------|--------|-----------|----------------------------------------|---------------------------|---------------|----------|--------|----------|--------|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | 内 | 外 | | | | | | |
| 1 | 土師器 | 甌 | 21.2 | 11.4 | 22.0 | ハケ後ナデ・ケズリ・ハケメ9本/1cm | 横ナデ・ハケメ7本/1cm・把手部面取り風ナデ | 灰白・浅黄色 | 7/12 | A-SK3 | 甕E | 044-01 |
| 2 | 土師器 | 甕 | 32.0 | | | ハケメ7本/1cm | ナデ・ハケメ9本/1cm | にぶい黄橙色 | 2/12 | A-SK3 | 甕B-1 | 023-03 |
| 3 | 土師器 | 甕 | 17.8 | | | ハケメ6本/1cm・ハケメ4本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄橙色 | 4/12 | A-SK3 | 甕A-1 | 008-01 |
| 4 | 土師器 | 杯 | 25.6 | | | ナデ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 浅黄橙色 | 2/12 | A-SK3 | 甕A-1 | 007-03 |
| 5 | 土師器 | 甕 | 11.6 | 4.0 | 4.3 | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・オサエ・ナデ・粘土接合痕あり | にぶい黄橙色 | 11/12 | A-SK3 | 杯A-2 | 033-01 |
| 6 | 土師器 | 甕 | 10.9 | | | 横ナデ・ナデ・ケズリ・ハケメ4本/1cm | 横ナデ・ハケメ8~9本/1cm | 浅黄橙・淡黄色 | 2/12 | A-SK3 | 甕B-3 | 027-03 |
| 7 | 土師器 | 甕 | 18.8 | | | ハケメ4本/1cm・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい橙色 | 8/12 | A-SK5 | 甕A-1 | 008-02 |
| 8 | 土師器 | 甕 | 20.0 | | | ナデ・ハケメ6本/1cm・ハケメ10本/1cm | ナデ・ハケメ8本/1cm | にぶい黄橙色 | 2/12 | A-SK5 | 甕B-1 | 023-02 |
| 9 | 土師器 | 甕 | 18.0 | | | 横ナデ・ハケメ8本/1cm | 横ナデ・ハケメ3~4本/1cm | にぶい黄橙色 | 5/12 | A-包含層 | 甕A-2 | 017-03 |
| 10 | 土師器 | 甕 | 11.2 | | | ロクロナデ・ナデ | ロクロナデ | にぶい黄橙色 | 3/12 | A-包含層 | | 001-01 |
| 11 | 土師器 | 杯 | 9.6 | 4.0 | 1.8 | ナデ | 横ナデ・オサエ | 橙色 | 8/12 | A-包含層 | 杯B | 035-01 |
| 12 | 須恵器 | 杯身 | 11.8 | (13.8) | 3.9 | ロクロナデ | ロクロナデ・底部ヘラ切り後未調整 | 淡黄色 | 3/12 | A-包含層 | | 042-04 |
| 13 | 須恵器 | 杯身 | 11.2 | (12.8) | 4.9 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰色 | 6/12 | A-包含層 | | 042-03 |
| 14 | 土師器 | 土錘 | - | - | - | | ナデ | 淡黄色 | - | A-包含層 | | 001-06 |
| 15 | 土師器 | 土錘 | - | - | - | | ナデ | にぶい黄橙色 | - | A-包含層 | | 002-02 |
| 16 | 土師器 | 甕 | 15.2 | | | 横ナデ・ハケメ11本/1cm | 横ナデ・ハケメ5本/1cm・スス付着 | にぶい黄橙色 | 3/12 | B-SZ4 | 甕F | 031-01 |
| 17 | 土師器 | 甕 | 19.9 | | | 横ナデ・ハケメ後ナデ・ハケメ7本/1cm | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | 浅黄橙色 | 2/12 | B-SZ4 | 甕F | 031-02 |
| 18 | 土師器 | 甕 | 19.0 | | | ハケメ4本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm・スス付着 | 橙色 | 2/12 | B-SZ4 | 甕A-2 | 014-03 |
| 19 | 土師器 | 甕 | 20.5 | | | ハケメ4~5本/1cm | 横ナデ・オサエ・ハケメ4~5本/1cm・スス付着 | にぶい黄橙色 | 5/12 | B-SZ4 | 甕A-2 | 014-02 |
| 20 | 土師器 | 甕 | 22.8 | | | ハケメ11~12本/1cm | ナデ・ハケメ11~12本/1cm | 浅黄橙・淡黄色 | 3/12 | B-SZ4 | 甕B-1 | 021-01 |
| 21 | 土師器 | 甕 | 20.0 | | | 横ナデ・ナデ・ハケメ8本/1cm・一部工具 具圧痕あり | 横ナデ・オサエ・ハケメ8本/1cm | にぶい黄橙色 | 3/12 | B-SZ4 | 甕A-2 | 015-01 |
| 22 | 土師器 | 甕 | 21.2 | | | ナデ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケ後ナデ・ハケメ6本/1cm | 灰白・にぶい 黄橙色 | 2/12 | B-SZ4 | 甕B-2 | 025-03 |
| 23 | 土師器 | 甕 | 20.3 | | | ハケ後ナデ・ケズリ・ハケメ9~10本/1 cm・ハケメ4~5本/1cm | 横ナデ・ハケメ4~5本/1cm・ハケメ8本/1cm | 浅黄橙色 | 1/12 | B-SZ4 | 甕B-2 | 025-01 |
| 24 | 土師器 | 甕 | 31.4 | | | 工具ナデ・ハケメ後ナデ・ハケメ4本/1cm | 横ナデ・ハケメ4本/1cm | 灰白色 | 6/12 | B-SZ4 | 甕B-2 | 045-01 |
| 25 | 土師器 | 甕 | | | | ナデ・ハケメ6本/1cm | ナデ・ハケメ7本/1cm | 浅黄橙色 | 1/12 | B-SZ4 | 甕B-1 | 021-03 |
| 26 | 土師器 | 甕 | 24.4 | | | 工具ナデ・ケズリ | ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄橙色 | 1/12 | B-SZ4 | 甕B-1 | 021-02 |
| 27 | 土師器 | 杯 | 13.0 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ナデ・粘土接合痕あり | 明褐色・灰褐色 | 3/12 | B-SZ4 | 杯A-2 | 034-02 |
| 28 | 土師器 | 杯 | 11.4 | 4.8 | 5.0 | 横ナデ・ナデ・工具ナデ | 横ナデ・オサエ・ナデ | にぶい黄橙色 | 3/12 | B-SZ4 | 杯A-1 | 033-04 |
| 29 | 土師器 | 杯 | 12.4 | | | ハケメ4本/1cm | 横ナデ・ケズリ・一部黒斑あり | にぶい黄橙色 | 3/12 | B-SZ4 | 杯A-2 | 034-03 |
| 30 | 土師器 | 高杯 | | 9.8 | | 横ナデ | ヘラミガキ・3方透かし(径1.0cm) | にぶい黄橙色 | 3/12 | B-SZ4 | 杯C | 035-05 |
| 31 | 土師器 | 高杯 | | 10.0 | | シボリ痕 | 面取り風ナデ・ハケメ10本/1cm・横ナデ | 浅黄橙・黄灰色 | 4/12 | B-SZ4 | 杯C | 036-02 |
| 32 | 土師器 | 高杯 | | | | ナデ | ハケメ6本/1cm | 橙・にぶい黄 橙色 | - | B-SZ4 | 杯C | 036-03 |
| 33 | 須恵器 | 杯身 | 13.7 | (15.8) | 4.6 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰白色 | 1/12 | B-SZ4 | | 039-04 |
| 34 | 須恵器 | 杯身 | 12.4 | (15.2) | 5.0 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 青灰色 | 6/12 | B-SZ4 | | 040-03 |
| 35 | 須恵器 | 杯身 | 10.4 | (13.0) | 4.4 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰色 | 2/12 | B-SZ4 | | 040-04 |
| 36 | 須恵器 | 杯蓋 | 13.4 | | 4.2 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰色 | 4/12 | B-SZ4 | | 040-01 |
| 37 | 須恵器 | 杯蓋 | 12.6 | | 4.4 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰色 | 4/12 | B-SZ4 | | 040-02 |
| 38 | 須恵器 | 短頸壺 | 8.4 | | 6.2 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰色 | 4/12 | B-SZ4 | | 040-05 |
| 39 | 須恵器 | 提瓶 | 9.0 | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ・カキメ11本/1cm | 灰白色 | 12/12 | B-SZ4 | | 041-01 |
| 40 | 土師器 | 甕 | 19.2 | | | 工具ナデ・ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 黄橙色 | 3/12 | B-SH10 | 甕A-1 | 005-02 |
| 41 | 土師器 | 甕 | 14.6 | | | 工具ナデ・オサエ | ナデ・工具ナデ | にぶい黄橙色 | 5/12 | B-SH10 | 甕B-1 | 022-03 |
| 42 | 土師器 | 甕 | 19.2 | | | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | 淡黄色 | 2/12 | B-SH10 | 甕A-2 | 016-03 |
| 43 | 土師器 | 甕 | 21.2 | | | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 淡黄色 | 8/12 | B-SH10 | 甕A-2 | 016-04 |
| 44 | 須恵器 | 杯身 | 12.6 | (15.4) | 5.4 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 浅黄橙色 | 2/12 | B-SH10 | | 037-02 |
| 45 | 須恵器 | 杯身 | 13.1 | | | ロクロナデ | ロクロナデ | 灰色 | 3/12 | B-SH10 | | 038-04 |
| 46 | 土師器 | 甕 | 13.9 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 浅黄橙色 | 5/12 | B-SK17 | 甕F | 031-03 |
| 47 | 土師器 | 甕 | 19.8 | | | ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 浅黄橙色 | 9/12 | B-SK17 | 甕A-1 | 005-01 |
| 48 | 土師器 | 甕 | 17.8 | | | ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | にぶい黄橙色 | 11/12 | B-SK17 | 甕A-1 | 005-03 |
| 49 | 土師器 | 甕 | 19.6 | | | ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 浅黄橙色 | 11/12 | B-SK17 | 甕A-1 | 006-02 |
| 50 | 土師器 | 甕 | 17.2 | | | ハケメ4本/1cm | 横ナデ・ハケメ4本/1cm | 橙色 | 4/12 | B-SK17 | 甕A-1 | 006-01 |
| 51 | 土師器 | 甕 | 20.0 | | | ハケメ4~5本/1cm | 横ナデ・ハケメ4~5本/1cm | 橙・浅黄橙色 | 3/12 | B-SK17 | 甕A-2 | 014-04 |
| 52 | 土師器 | 甕 | 20.3 | | | 横ナデ・ハケメ10本/1cm | 横ナデ・ハケメ10本/1cm・一部黒変 | にぶい黄橙色 | 3/12 | B-SK17 | 甕A-2 | 015-02 |
| 53 | 土師器 | 甕 | 19.2 | | | ナデ・ハケメ5本/1cm | ナデ・オサエ | 浅黄橙色 | 2/12 | B-SK17 | 甕A-3 | 019-01 |
| 54 | 土師器 | 甕 | 19.9 | | | ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ナデ・オサエ | 浅黄橙色 | 1/12 | B-SK17 | 甕A-3 | 019-03 |
| 55 | 土師器 | 甕 | | | | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | 浅黄橙色 | 0/12 | B-SK17 | 甕A-2 | 015-03 |
| 56 | 土師器 | 甕 | 16.2 | | | ハケメ7本/1cm・ケズリ | ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄橙色 | 4/12 | B-SK17 | 甕A-3 | 019-02 |
| 57 | 土師器 | 甕 | 32.1 | | | ハケメ8本/1cm | ナデ・ハケメ7本/1cm | 浅黄色 | 1/12 | B-SK17 | 甕A-3 | 019-04 |
| 58 | 土師器 | 甕 | 29.0 | | | ハケメ8本/1cm | 横ナデ・オサエ・ハケメ7本/1cm | にぶい黄橙・ 淡黄色 | 2/12 | B-SK17 | 甕B-1 | 022-01 |
| 59 | 土師器 | 甕 | 24.2 | | | ナデ・オサエ・ハケメ6本/1cm・ハケメ1 2本/1cm | 横ナデ・ナデ・ハケメ4~5本/1cm | 淡黄色 | 2/12 | B-SK17 | 甕B-1 | 023-01 |
| 60 | 土師器 | 甕 | 20.6 | | | ハケメ7~8本/1cm・ハケメ15本/1cm | ナデ・オサエ・ハケメ6本/1cm | 浅黄橙色 | 3/12 | B-SK17 | 甕B-1 | 022-02 |
| 61 | 土師器 | 甕 | 19.2 | | | ハケ後ナデ・ハケメ5~6本/1cm | 横ナデ・ハケ後ナデ・ハケメ5~6本/1cm | 浅黄橙色 | 3/12 | B-SK17 | 甕B-2 | 024-02 |
| 62 | 土師器 | 甕 | 17.0 | | | ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ナデ・オサエ | にぶい黄橙色 | 4/12 | B-SK17 | 甕B-2 | 024-01 |
| 63 | 土師器 | 甕 | 17.7 | | | ナデ・ハケ後ナデ・ハケメ7本/1cm | 横ナデ・オサエ・ナデ・ハケメ7本/1cm | にぶい黄橙色 | 2/12 | B-SK17 | 甕B-2 | 024-03 |
| 64 | 土師器 | 甕 | 30.4 | | | 横ナデ・ハケメ5~6本/1cm | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | 灰白・浅黄橙色 | 2/12 | B-SK17 | 甕B-2 | 025-02 |
| 65 | 土師器 | 甕 | 11.2 | | | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | 浅黄橙・淡黄色 | 2/12 | B-SK17 | 甕B-3 | 028-01 |
| 66 | 土師器 | 甕 | 18.6 | | | ハケメ4~5本/1cm | 横ナデ・ハケメ4~5本/1cm | 浅黄橙色 | 4/12 | B-SK17 | 甕B-3 | 028-02 |
| 67 | 土師器 | 甕 | 37.6 | | | 横ナデ・ハケメ7本/1cm・粘土接合痕あり | 横ナデ・ハケメ6~7本/1cm | にぶい黄橙色 | 2/12 | B-SK17 | 甕B-3 | 027-02 |
| 68 | 土師器 | 甕 | 38.0 | | | ハケメ8本/1cm・粘土接合痕あり | 横ナデ・ハケメ8本/1cm・粘土接合痕あり | 淡黄・にぶい 黄橙色 | 2/12 | B-SK17 | 甕B-3 | 026-02 |
| 69 | 土師器 | 甕 | 14.6 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 浅黄橙色 | 2/12 | B-SK17 | 甕D | 030-02 |
| 70 | 土師器 | 甕 | 16.8 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ナデ・一部スス付着 | 灰白・にぶい 黄橙色 | 2/12 | B-SK17 | 甕D | 030-01 |
| 71 | 土師器 | 甕 | | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ナデ | 褐色・黒褐色 | 0/12 | B-SK17 | 甕D | 029-06 |
| 72 | 土師器 | 甕 | | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ハケメ8本/1cm | 淡黄色 | 0/12 | B-SK17 | 甕C | 029-04 |
| 73 | 土師器 | 甕 | | | | ナデ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 浅黄橙色 | 0/12 | B-SK17 | 甕C | 029-02 |
| 74 | 土師器 | 甕 | | | | 横ナデ・ナデ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 黄灰色 | 0/12 | B-SK17 | 甕C | 029-01 |
| 75 | 土師器 | 甕 | | | | ナデ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄橙色 | 0/12 | B-SK17 | 甕C | 029-03 |

第3表 出土遺物観察表(1)

| 番号 | 器種 | 計測値 | | | 調整・釉薬等の特徴 | | 色調 | 口縁部 残存率 | 出土 位置 | 分類 | 登録 番号 |
|-----|---------|-----------|--------|------|----------------------|--------------------------|---------------|------------|----------|------|----------|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | 内 | 外 | | | | | |
| 76 | 土師器 高杯 | 11.8 | 10.0 | 11.0 | ナデ・ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ナデ・ハケメ5本/1cm | 橙色 | 3/12 | B-SK17 | 杯C | 036-04 |
| 77 | 土師器 高杯 | 14.0 | | | ナデ | 横ナデ・ナデ | 浅黄橙・橙色 | 8/12 | B-SK17 | 杯C | 036-01 |
| 78 | 土師器 杯 | 12.9 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・オサエ・ナデ | 橙色 | 3/12 | B-SK17 | 杯A-2 | 034-01 |
| 79 | 土師器 杯 | 14.4 | 8.2 | 5.3 | 横ナデ・オサエ・ナデ | 横ナデ・オサエ・ナデ | 灰白・にぶい 黄橙色 | 1/12 | B-SK17 | 杯A-1 | 033-03 |
| 80 | 土師器 杯 | 13.0 | 8.0 | 5.5 | 横ナデ・ナデ・工具ナデ | 横ナデ・オサエ・ナデ | にぶい橙色 | 8/12 | B-SK17 | 杯A-1 | 033-02 |
| 81 | 須恵器 杯身 | 13.0 | (15.3) | 4.9 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰色 | 2/12 | B-SK17 | | 039-05 |
| 82 | 須恵器 杯身 | 12.8 | (15.4) | 4.6 | ロクロナデ | 灰白色 | 暗灰黄色 | 3/12 | B-SK17 | | 037-03 |
| 83 | 須恵器 杯身 | 12.3 | (14.8) | 5.0 | ロクロナデ | ロクロナデ | 浅黄色 | 6/12 | B-SK17 | | 037-01 |
| 84 | 須恵器 杯蓋 | 14.1 | | 4.7 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰白色 | 2/12 | B-SK17 | | 039-03 |
| 85 | 須恵器 杯蓋 | 14.3 | | 4.8 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 黄灰色 | 4/12 | B-SK17 | | 038-01 |
| 86 | 須恵器 杯蓋 | 15.6 | | 4.6 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰白色 | 2/12 | B-SK17 | | 038-02 |
| 87 | 須恵器 甕 | 16.8 | | | ロクロナデ | ロクロナデ・タタキ | 灰白色 | 2/12 | B-SK17 | | 039-01 |
| 88 | 須恵器 短頸壺 | | 3.6 | | ロクロナデ | 工具ナデ・タタキ・ロクロナデ | 灰色 | 0/12 | B-SK17 | | 039-02 |
| 89 | 土師器 甕 | 16.4 | | | ナデ・ハケメ7本/1cm | ナデ・ハケメ7本/1cm | 灰白色 | 2/12 | B-SK17 | 甕A-3 | 020-03 |
| 90 | 土師器 甕 | 13.8 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ハケメ4本/1cm | にぶい黄橙色 | 2/12 | B-SK17 | 甕D | 030-03 |
| 91 | 土師器 甕 | 18.0 | | | ハケメ3本/1cm | ナデ・ハケメ3本/1cm | にぶい橙色 | 1/12 | B-SK22 | 甕A-1 | 004-04 |
| 92 | 土師器 甕 | 19.8 | | | ハケメ3本/1cm | ナデ・ハケメ4本/1cm | にぶい褐色 | 2/12 | B-SK22 | 甕A-1 | 004-03 |
| 93 | 土師器 甕 | 22.2 | | | ハケメ3本/1cm | ナデ・ハケメ3本/1cm | にぶい黄橙色 | 3/12 | B-SK22 | 甕A-1 | 003-03 |
| 94 | 土師器 甕 | 21.0 | | | ハケメ6本/1cm | ナデ・ハケメ6本/1cm | 浅黄橙色 | 4/12 | B-SK22 | 甕A-1 | 003-04 |
| 95 | 土師器 甕 | 22.8 | | | ハケメ6本/1cm | ナデ・ハケメ6本/1cm | 浅黄橙色 | 3/12 | B-SK22 | 甕A-1 | 004-02 |
| 96 | 土師器 甕 | 19.2 | | | ハケメ4本/1cm | ナデ・ハケメ4本/1cm | 浅黄橙色 | 12/12 | B-SK22 | 甕A-1 | 003-01 |
| 97 | 土師器 甕 | 19.2 | | | ハケメ5本/1cm | ナデ・ハケメ5本/1cm | 浅黄橙色 | 6/12 | B-SK22 | 甕A-1 | 004-01 |
| 98 | 土師器 甕 | 21.4 | | | ハケメ4本/1cm | 横ナデ・ハケメ4本/1cm | にぶい橙・褐色 | 12/12 | B-SK22 | 甕A-1 | 003-02 |
| 99 | 土師器 甕 | 20.6 | | | ハケメ8本/1cm・口縁部ハケ後ナデ | 横ナデ・ハケメ8本/1cm | 灰黄褐色 | 2/12 | B-SK22 | 甕A-2 | 012-02 |
| 100 | 土師器 甕 | 20.4 | | | ハケメ7本/1cm・口縁部ハケ後ナデ | 横ナデ・ハケメ7本/1cm・口縁部ハケ後ナデ | 灰白色 | 3/12 | B-SK22 | 甕A-2 | 011-01 |
| 101 | 土師器 甕 | 18.4 | | | ハケメ (剥離のため調整不明瞭) | 横ナデ・ハケメ4本/1cm | 明黄褐色 | 2/12 | B-SK22 | 甕A-2 | 013-01 |
| 102 | 土師器 甕 | 18.4 | | | ハケメ6本/1cm | 横ナデ・オサエ・ハケメ6本/1cm | 明黄褐色 | 6/12 | B-SK22 | 甕A-2 | 014-01 |
| 103 | 土師器 甕 | 20.6 | | | ハケメ4本/1cm・口縁部ハケ後ナデ | 横ナデ・オサエ・ナデ・ハケメ4本/1cm | 浅黄橙・黄褐色 | 3/12 | B-SK22 | 甕A-2 | 012-01 |
| 104 | 土師器 甕 | 19.4 | | | ハケメ7本/1cm・口縁部ハケ後ナデ | 横ナデ・ハケメ7本/1cm・口縁部ハケ後ナデ | 灰白色 | 11/12 | B-SK22 | 甕A-2 | 011-02 |
| 105 | 土師器 土鍾 | 長6.7 短2.9 | | | | ナデ | にぶい橙色 | - | B-SK22 | | 001-07 |
| 106 | 須恵器 杯蓋 | 13.1 | | | ロクロナデ | ロクロナデ | 灰色 | 2/12 | B-SK22 | | 038-03 |
| 107 | 土師器 甕 | 19.0 | | | ハケメ4本/1cm | 横ナデ・ハケメ4~5本/1cm | 浅黄褐色 | 3/12 | B-SK2 | 甕A-1 | 007-02 |
| 108 | 土師器 甕 | 21.4 | | | ハケメ6~7本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 淡黄色 | 4/12 | B-SK2 | 甕A-1 | 007-01 |
| 109 | 須恵器 杯蓋 | 15.1 | | | ロクロナデ | ロクロナデ | 灰黄色 | 3/12 | B-SK2 | | 038-05 |
| 110 | 土師器 甕 | 15.2 | | | ハケメ4本/1cm・ナデ | ナデ・ハケメ4本/1cm | 浅黄褐色 | 2/12 | B-SK12 | 甕A-3 | 020-01 |
| 111 | 土師器 甕 | 18.8 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ハケメ9本/1cm | 浅黄褐色 | 3/12 | B-SK12 | 甕A-2 | 014-05 |
| 112 | 土師器 土鍾 | 長7.7 短3.4 | | | ハケメ4本/1cm | ナデ | 橙色 | - | B-SK12 | - | 002-03 |
| 113 | 土師器 甕 | 20.7 | | | ハケメ8本/1cm・ナデ | ハケメ8本/1cm・ナデ | 灰白色 | 1/12 | B-SK20 | 甕A-3 | 020-02 |
| 114 | 土師器 杯 | 9.0 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・オサエ | 橙色 | 8/12 | B-SK20 | 杯B | 035-02 |
| 115 | 土師器 杯 | - | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・オサエ | 浅黄褐色 | 0/12 | B-SK20 | 杯B | 035-03 |
| 116 | 須恵器 杯身 | 12.2 | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰赤色 | 0/12 | B-SK20 | | 037-04 |
| 117 | 土師器 甕 | 18.4 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ハケメ4~5本/1cm | にぶい黄褐色 | 0/12 | P i t | 甕F | 031-04 |
| 118 | 土師器 甕 | 11.4 | | | 横ナデ・ナデ後オサエ | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄褐色 | 2/12 | 包含層 | 甕F | 032-02 |
| 119 | 土師器 甕 | 14.4 | | | 横ナデ・ハケメ4~5本/1cm後ナデ | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄褐色 | 1/12 | 包含層 | 甕F | 032-03 |
| 120 | 土師器 甕 | 16.6 | | | 横ナデ・工具ナデ・オサエ | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄褐色 | 2/12 | 包含層 | 甕F | 031-05 |
| 121 | 土師器 甕 | 15.4 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄褐色 | 2/12 | 包含層 | 甕F | 032-04 |
| 122 | 土師器 甕 | 12.0 | | | ナデ・工具ナデ・オサエ | ナデ・ハケメ7~8本/1cm | にぶい黄褐色 | 5/12 | 包含層 | 甕A-1 | 009-04 |
| 123 | 土師器 甕 | 18.0 | | | ナデ・工具ナデ・ハケメ6本/1cm | ナデ・オサエ・ハケメ7~8本/1cm | 浅黄褐色 | 3/12 | 包含層 | 甕A-1 | 009-02 |
| 124 | 土師器 甕 | 18.7 | | | ロクロナデ | ハケメ7~8本/1cm後・ロクロナデ | 浅黄褐色 | 11/12 | 包含層 | 甕A-1 | 009-01 |
| 125 | 土師器 甕 | 17.3 | | | 横ナデ・オサエ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ5~6本/1cm | にぶい黄褐色 | 10/12 | 包含層 | 甕A-1 | 010-02 |
| 126 | 土師器 甕 | 19.7 | | | 横ナデ・オサエ・ハケメ7本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄褐色 | 11/12 | 包含層 | 甕A-1 | 010-01 |
| 127 | 土師器 甕 | 12.8 | | | 横ナデ・ハケメ9~10本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | にぶい黄褐色 | 3/12 | 包含層 | 甕A-1 | 009-03 |
| 128 | 土師器 甕 | 17.6 | | | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ6~7本/1cm | 浅黄褐色 | 3/12 | 包含層 | 甕A-2 | 016-02 |
| 129 | 土師器 甕 | 19.0 | | | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ハケメ6~7本/1cm | にぶい橙色 | 3/12 | 包含層 | 甕A-2 | 018-02 |
| 130 | 土師器 甕 | 17.6 | | | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 横ナデ・ハケメ6本/1cm | 灰白色 | 12/12 | 包含層 | 甕A-2 | 018-01 |
| 131 | 土師器 甕 | 21.2 | | | 横ナデ・工具ナデ?・ハケメ5本/1cm | 横ナデ・ハケメ5本/1cm | 灰白色 | 0/12 | 包含層 | 甕A-2 | 017-02 |
| 132 | 土師器 甕 | 18.5 | | | 横ナデ・ハケメ5~7本/1cm | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | にぶい黄褐色 | 11/12 | 包含層 | 甕A-2 | 016-01 |
| 133 | 土師器 甕 | 17.1 | | | 横ナデ・ハケメ4~5本/1cm | 横ナデ・ハケメ4~5本/1cm | 浅黄褐色 | 3/12 | 包含層 | 甕A-2 | 026-01 |
| 134 | 土師器 甕 | 15.3 | | | 横ナデ・工具ナデ・ハケメ7~8本/1cm | 横ナデ・ハケメ7本/1cm・スス付着 | 浅黄褐色 | 1/12 | 包含層 | 甕A-2 | 026-03 |
| 135 | 土師器 甕 | 38.0 | | | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | 横ナデ・ハケメ6~7本/1cm | にぶい黄褐色 | 2/12 | 包含層 | 甕A-2 | 027-01 |
| 136 | 土師器 甕 | 21.8 | | | 横ナデ・ハケメ4本/1cm・ナデ・ケズリ | 横ナデ・ハケメ5~6本/1cm | 淡黄色 | 3/12 | 包含層 | 甕E | 046-01 |
| 137 | 土師器 甕 | 20.8 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ケズリ・オサエ | 浅黄褐色 | 2/12 | 包含層 | 甕E | 032-01 |
| 138 | 土師器 甕 | | | | 横ナデ・ハケメ6本/1cm後ナデ | 横ナデ・ハケメ7本/1cm | 淡黄色 | 0/12 | 包含層 | 甕E | 029-05 |
| 139 | 土師器 杯 | 11.8 | | | 横ナデ・工具ナデ | 横ナデ・ナデ・ケズリ | にぶい黄褐色 | 2/12 | 包含層 | 杯A-1 | 033-06 |
| 140 | 土師器 杯 | 12.1 | | 5.0 | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ナデ・粘土接合痕あり | にぶい黄褐色 | 2/12 | 包含層 | 杯A-1 | 033-05 |
| 141 | 土師器 杯 | 14.0 | | 5.5 | 横ナデ・ナデ? | 横ナデ・ナデ?・粘土接合痕? | にぶい橙色 | 2/12 | 包含層 | 杯A-2 | 034-05 |
| 142 | 土師器 杯 | 10.0 | | | 横ナデ・ナデ・ケズリ | 横ナデ・工具ナデ後ナデ | にぶい橙色 | 2/12 | 包含層 | 杯A-2 | 034-06 |
| 143 | 土師器 杯 | 20.0 | | | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・ケズリ | 黄褐色 | 3/12 | 包含層 | 杯B | 035-06 |
| 144 | 土師器 杯 | 9.5 | | 1.7 | 横ナデ・ナデ | 横ナデ・オサエ | 橙色 | 8/12 | 包含層 | 杯B | 035-02 |
| 145 | 土師器 土鍾 | 長5.7 短3.4 | | | | ナデ | 橙色 | - | 包含層 | - | 001-08 |
| 146 | 須恵器 杯身 | 11.2 | | 4.7 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | オリープ灰色 | 6/12 | 包含層 | - | 042-02 |
| 147 | 須恵器 杯蓋 | 13.8 | | 4.1 | ロクロナデ・タタキ圧痕後ナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ | 灰色 | 5/12 | 包含層 | - | 042-05 |
| 148 | 須恵器 杯蓋 | 14.8 | | 4.9 | ロクロナデ | ロクロナデ・ロクロケズリ・ヘラ記号あり | 灰オリープ色 | 9/12 | 包含層 | - | 043-01 |
| 149 | 須恵器 甕 | 25.8 | | | ロクロナデ | ロクロナデ・波状文 | 灰色 | 3/12 | 包含層 | - | 042-01 |
| 150 | 無釉陶器 碗 | | 9.7 | | ロクロナデ | ロクロナデ・高台糸切り・貼付け後ナデ | 褐灰色 | - | 包含層 | - | 042-03 |
| 151 | 無釉陶器 碗 | 17.3 | 8.6 | 5.2 | ロクロナデ | ロクロナデ・高台糸切り・モミガラ痕・貼付け後ナデ | 淡黄色 | 3/12 | 表土 | - | 043-02 |

第4表 出土遺物観察表(2)



A地区全景 北から



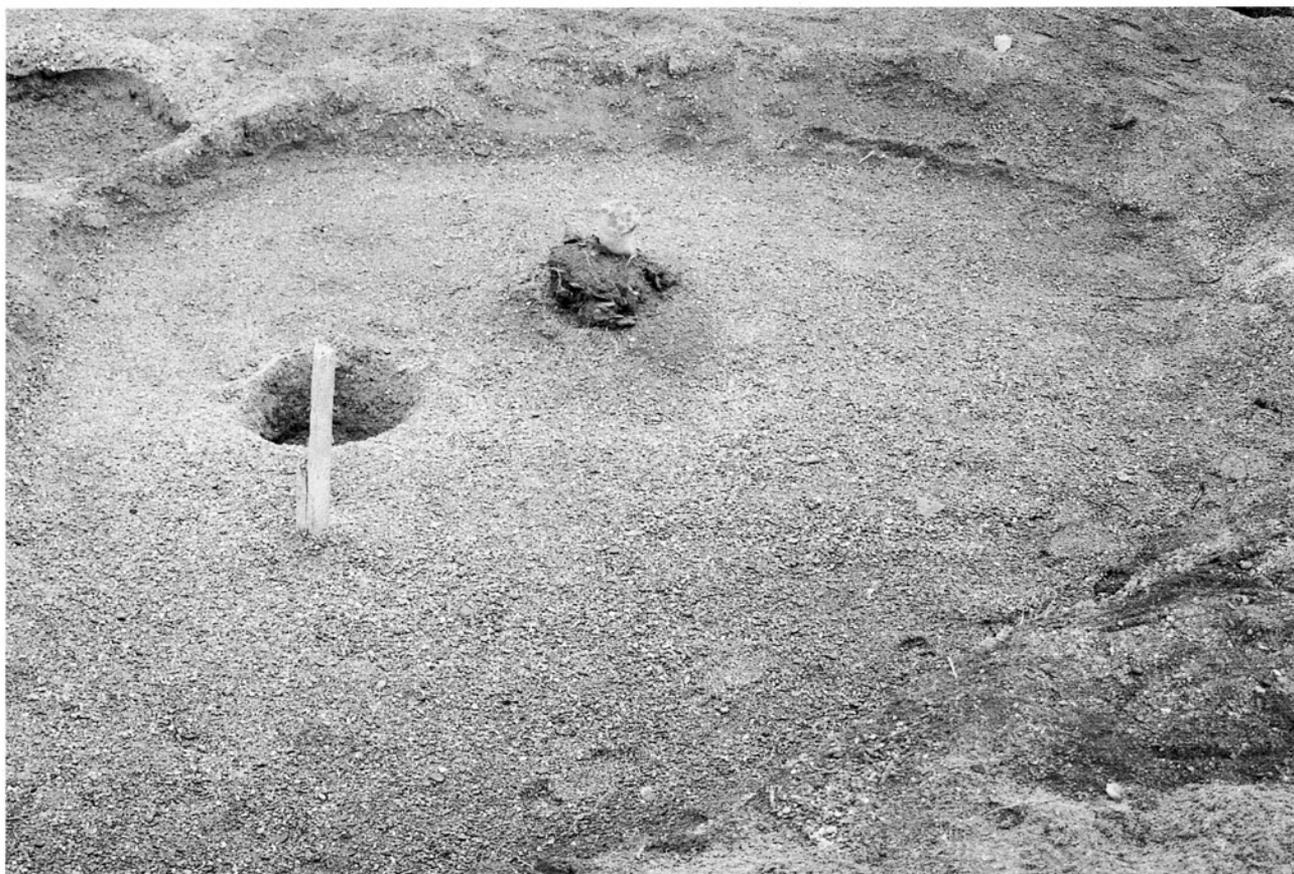
B地区全景 西から



B地区全景 東から



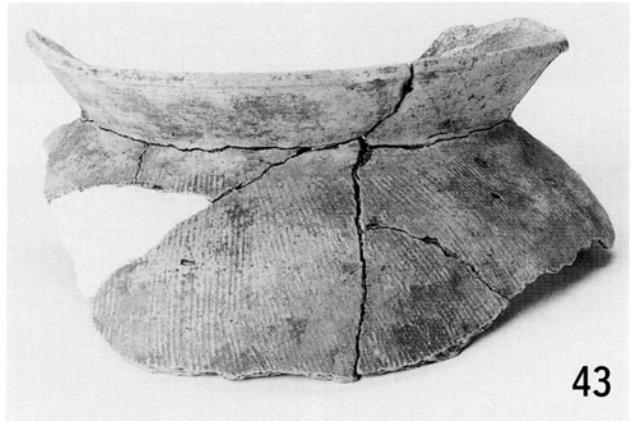
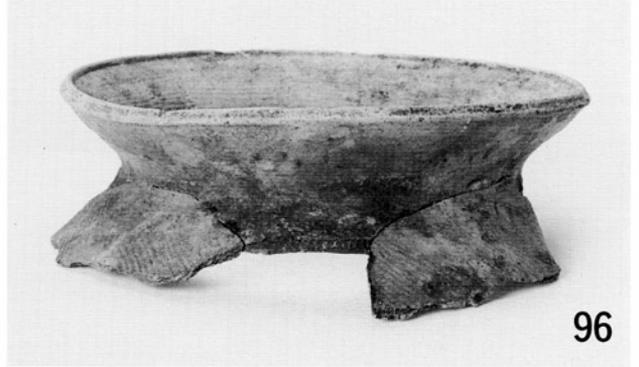
B地区SK17 土器出土状況 南から



B地区S H10 北東から



B地区S H10 石出土状況 北東から



出土遺物写真

報 告 書 抄 録

| | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------------------------|-------------|------------------|-------------|--------------|---------------------------|-------------------------------|----------|
| ふりがな | たかのごぜんいせきはつくつちょうさほうこく | | | | | | | |
| 書名 | 高ノ御前遺跡発掘調査報告 | | | | | | | |
| 副書名 | | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | 三重県埋蔵文化財調査報告 | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 146-4 | | | | | | | |
| 編著者名 | 日栄 智子 | | | | | | | |
| 編集機関 | 三重県埋蔵文化財センター | | | | | | | |
| 所在地 | 〒515-03 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596(52)1732 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 1997年3月31日 | | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード | | 北緯 ° ' " | 東経 ° ' " | 調査期間 | 調査面積 ^{m²} | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| たかのごぜんいせき 高ノ御前遺跡 | いせしありたきちょうたかのごぜん 伊勢市有滝町字高ノ御前 | 242039 | | 34° 32' 13" | 136° 41' 27" | 19961007) 19961114 | 400 | 県営圃場整備事業 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | | 主な遺物 | | 特記事項 | |
| 高ノ御前遺跡 | 集落跡 | 古墳 飛鳥・奈良 | 竪穴住居 井戸 土坑 | | 土師器・須恵器 | | | |

平成9(1997)年3月に刊行されたものをもとに
平成19(2007)年7月にデジタル化しました。

三重県埋蔵文化財調査報告146-4

高ノ御前遺跡発掘調査報告

1997.3

編 集 三重県埋蔵文化財センター
発 行

印 刷 (有)第一プリント社
